

NGU NEWS

Vol. **105**
2025.
AUGUST

COSMORAMA



〔名古屋学院大学情報誌 コズモラマ〕

Contents

- P.02 男子バスケットボール部 創部初全国4位
- P.04 活躍するクラブ
- P.06 学長・学部長メッセージ
- P.08 PICK UP NGU NEWS
- P.10 社会連携センター
- P.12 i-Lounge／留学生インタビュー
- P.14 活躍するNGU生／かがやく卒業生
- P.15 学部長表彰／キリスト教センター便り
- P.16 キャリアセンター便り
- P.22 入学式／学長表彰
- P.23 父母会会長からのメッセージ／父母会総会
- P.24 ゼミ紹介&おすすめ本紹介
- P.26 研究室探訪
- P.28 Essay／私の講義日誌／学食／大学生生活支援室
- P.30 父母会予算・決算／同窓会決算書／入試結果
- P.32 Information

Photo:国際文化学部4年 池津あかねさん

Culture & Human Resources
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

NGU NEWS
COSMORAMA
〔名古屋学院大学情報誌 コズモラマ〕

発行日／2025年8月1日 編集／名古屋学院大学 広報室
発行者／名古屋学院大学 〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号
TEL 052-678-4074 E-mail: kouhou@ngu.ac.jp

With
All Your Heart
その一歩を、ともに。


Culture & Human Resources
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY
名古屋学院大学



<https://www.ngu.jp/>



NGU NEWS

COSMORAMA



とは？

「宇宙」や「世界」を表わす COSMOS（コスモス）と PANORAMA（パノラマ）との合成語である COSMORAMA は、19 世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが発祥とされています。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにと本学広報誌の愛称に採用しました。



男子バスケットボール部 創部初 全国4位!

2024年11,12月に開催された第76回全日本大学バスケットボール選手権大会において、男子バスケットボール部が創部初の全国4位を成し遂げました。

10年連続12回目の出場となった今大会、東海リーグ王者として臨んだ1回戦を圧勝で幸先の良いスタートを切り、2回戦では対関東勢初勝利で2年ぶりのベスト8へ進出しました。

準々決勝の相手は優勝候補筆頭の日本体育大学でしたが、選手たちの頑張りで、見事大金星を勝ち取ることができ、創部初のベスト4進出を果たしました。

準決勝、3位決定戦では惜しくも敗れてしまいましたが、初の全国4位に輝き大学を盛り上げてくれました。皆様のあたたかいご声援ありがとうございました。

SPECIAL INTERVIEW

Bリーグで活躍する 2024年度主将 永野威旺選手

名古屋学院大学での思い出を教えてください。

最終学年で迎えたインカレでベスト4に入ったことです。ベスト4を達成しましたが、驚きの方が強かったです。嬉しい気持ちもありましたが、自分たちがベスト4に入ったという実感が湧くまでに時間がかかりました。

今後の目標、挑戦したいことを教えてください。

バスケットだけでなく人としても成長していきたいですし、Bリーグで長くキャリアを歩んでいけるように頑張っていきたいと思います。

最後に、男子バスケットボール部後輩の皆さんへメッセージをお願いします。

恵まれた環境でバスケットボールができてと思うので、感謝の気持ちを忘れず頑張っ
て欲しいです!



© n_velca



10 PG/
SG

ながの い お
永野 威旺 選手

商学部2025年3月卒業
(24-25シーズン)
長崎ヴェルカ在籍
(25-26シーズン)
横浜エクセレンスにレンタル移籍

© n_velca

第76回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)

1回戦	対 八戸学院大学(東北3位)	121-61	○
2回戦	対 中央大学(関東9位)	88-61	○
3回戦	対 日本体育大学(関東1位)	105-87	○
準決勝	対 日本大学(関東4位)	67-86	●
三位決定戦	対 白鷗大学(関東2位)	48-79	●

個人賞

優秀選手賞	永野威旺(主将、商学部4年)
リバウンド王	オコエ・ピーター・ジュニア(商学部4年) 23本
MIP賞	永野威旺(主将、商学部4年)

※学年は受賞当時のものです。





FOOTBALL
サッカー部

1部復帰！
2024年度第63回東海学生サッカー
リーグ戦（2部）において準優勝と
なり、1部復帰となりました。



SEMI-HARDBALL BASEBALL
準硬式野球部

2025年度春季リーグ戦（2部）優勝！
2025年度春季リーグ戦（2部）で、
2024年度秋季リーグに続いて2部
リーグ優勝を果たしました。



BOXING
ボクシング部

第94回全日本ボクシング選手権
大会出場！
2024年度第94回全日本選手権大
会愛知県選考会で女子フライ級1
位となり、第94回全日本ボクシング
選手権大会に出場しました。



EQUESTRIAN
馬術部

全日本学生障害馬術競技大会に出場！
2024年6月21日～6月23日に行わ
れた第59回中部学生自馬競技会
において優秀な成績を収め、全日
本学生馬術大会に出場しました。



KARATE
空手道部

全日本学生空手道選手権大会に出場！
2024年9月29日に行われた令和6
年度秋季東海地区大学空手道選
手権大会において、男子団体組手
で5位となり、第67回全日本大学空
手道選手権大会に出場しました。



TABLE TENNIS
卓球部

リーグ戦3部（男子）優勝！・2部昇格
男子が2024年度東海学生卓球秋
季リーグ戦（3部）でリーグ優勝、そ
の後の入替戦も勝利し、見事2部
昇格を果たしました。

活躍するクラブ

NGU ATHLETICS

クラブ一覧はこちら！



名古屋学院大学では、現在90を超えるクラブ・サークルがあります。その中でも全国大会等で上位の成績を収めた団体を紹介します。



BASKETBALL
女子バスケットボール部

全日本インカレ連続出場中！
2024年9月7日～11月3日に行われた第95回東海学生バ
スケットボールリーグ戦において、準優勝を果たし、全日
本インカレに出場しました。6年連続の出場となり、本学
の体育会をけん引する活躍を見せています。
【東海学生バスケットボールリーグ戦個人賞】
●敢闘賞／永田妃奈野（主将、商学部4年）
●優秀選手賞／鷲尾優佑奈（副主将、商学部4年）
●得点王／森田真衣（商学部4年）
※学年は受賞当時のものです。



VOLLEYBALL
女子バレーボール部

全日本インカレ3年連続出場！
2024年9月14日～10月20日に行われた第158回東海大学
男女バレーボールリーグ戦秋季大会において1部リーグ
3位となり、全日本インカレ（第71回秩父宮妃賜杯全日本
バレーボール大学女子選手権大会）に出場しました。3
年連続の出場です。



BASEBALL
硬式野球部

2季連続2部リーグ優勝！
2024年度秋季リーグ戦（2部）、2025年度春季リーグ戦
（2部）で2季連続となる2部リーグ優勝を果たし、1部昇
格に向けての入替戦に出場しました。
【2024年度秋季リーグ】
●2部優秀選手賞／出口幹人（スポーツ健康科学部4年）
●2部A最優秀打者賞／出口幹人（スポーツ健康科学部4年）
【2025年度春季リーグ】
●2部最優秀選手賞／後藤海斗（スポーツ健康科学部3年）
※学年は受賞当時のものです。

クラブ活動実績〈クラブ活動結果一覧〉（2024年6月～2025年5月末）

クラブ	大会名	主 催	日程	結 果
空手道部	第68回全日本学生空手道選手権大会	一般社団法人関西学生空手道連盟	7/6-7/7	出場
	第55回拳和会空手道選手権大会	日本空手道拳和会	7/28	一般女子組手の部 優勝
	第58回和道会全国空手道選手権大会	全日本空手道連盟・和道会	8/17-8/18	個人形の部 準優勝
	第68回全日本大学空手道選手権大会	一般社団法人全日本学生空手道連盟	11/16-11/17	男子団体組手 出場
硬式野球部	2024年度秋季リーグ戦	愛知大学野球連盟	8/31-10/6	2部A 1位
	2025年度春季リーグ戦	愛知大学野球連盟	4/5～5/11	2部A 1位
準硬式野球部	令和6年度秋季リーグ戦	東海地区大学準硬式野球連盟	9/3-10/26	2部 優勝
	第42回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	全日本大学準硬式野球連盟	11/15-11/22	出場
女子バスケットボール部	2024年度第95回東海学生バスケットボールリーグ戦	東海学生バスケットボール連盟	9/7-11/3	1部リーグ 準優勝
	第76回全日本バスケットボール選手権大会	一般社団法人全日本大学バスケットボール連盟、公益財団法人日本バスケットボール協会	11/29-12/8	出場
	第63回東海学生バスケットボール部	公益財団法人日本バスケットボール協会、一般財団法人全日本バスケットボール連盟、東海学生バスケットボール連盟	4/27-5/6	1部リーグ 準優勝
	第3回全日本大学バスケットボール新人戦 東海地区予選	公益財団法人日本バスケットボール協会、一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟、東海学生バスケットボール連盟	5/10-5/17	準優勝
女子バレーボール部	第158回東海大学男女バレーボールリーグ戦 秋季大会	東海大学バレーボール連盟	9/14-10/20	1部 3位
	第28回愛知大学男女バレーボールリーグ戦	愛知大学バレーボール連盟	11/2-11/3	1部 優勝
	第10回東海オープン男女バレーボール選手権大会	東海大学バレーボール連盟	12/7-12/8	3位
	第159回東海大学男女バレーボール戦春季大会	東海大学バレーボール連盟	4/13-5/25	準優勝
卓球部	令和6年度愛知県夏季卓球新人大会	愛知県卓球協会	7/27-7/28	男子シングルス/Aブロック優勝、Cブロック優勝、シブロック優勝
	令和6年度愛知県夏季卓球新人大会	東海学生卓球連盟	8/23-8/24	男子シングルス/Aブロック準優勝、Dブロック準優勝
	第90回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）東海地区予選	東海学生卓球連盟	8/31	出場
	2024年度東海学生卓球秋季リーグ戦	東海学生卓球連盟	9/2-9/5	男子 3部リーグ 優勝、女子 3部リーグ 3位
男子バスケットボール部	第74回学生バスケットボール選手権大会	西日本学生バスケットボール選手権大会事項委員会、株式会社デイリースポーツ	6/3-6/6	3位
	第2回全日本大学バスケットボール新人戦	一般社団法人全日本大学バスケットボール連盟	7/8-7/14	出場
	東海学生バスケットボールリーグ戦	東海学生バスケットボール連盟	9/7-11/3	優勝
	第76回全日本大学バスケットボール選手権大会	公益財団法人日本バスケットボール協会、一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟	12/4-12/15	4位
	第63回東海学生バスケットボール大会	公益財団法人日本バスケットボール協会、一般財団法人全日本バスケットボール連盟、東海学生バスケットボール連盟	5/3-5/6	名古屋学院大学A 優勝
	第3回全日本大学バスケットボール新人戦 東海地区予選	公益財団法人日本バスケットボール協会、一般財団法人全日本バスケットボール連盟、東海学生バスケットボール連盟	5/10-5/17	準優勝
日本拳法部	第64回中部日本学生拳法選手権大会	中部日本学生拳法連盟	6/9	男子（有段の部）準優勝
	第36回日本拳法全国大学選抜選手権大会	全日本学生拳法連盟	6/22-6-23	出場
	第36回日本拳法名古屋大会	日本拳法中部日本本部	7/14	大学・一般男子 段の部 準優勝
	2024年度 全日本拳法総合選手権大会	一般社団法人日本拳法連盟	9/14-9/15	出場
	第13回日本拳法江南市民大会	江南市日本拳法連盟	10/6	高校・一般有段2部（初段・2段）準優勝
	第58回中部日本学生拳法新人戦大会	愛知県日本拳法連盟	10/27	Aチーム 優勝
	第39回全日本学生拳法個人選手権大会	第39回全日本学生拳法個人選手権大会	10/27	出場
	第13回日本拳法長久手市鎮成大会	中部日本拳法連盟	12/8	個人戦 準優勝
馬術部	2024みえスポーツフェスティバル	みえスポーツフェスティバル実行委員会	9/27-9/29	小障害飛越A 3位
	第51回中日本馬術大会、第30回わかしゃも記念東海馬術大会	中部馬術連盟競技会、愛知県馬術連盟	10/26-10/27	馬場3課目A 3位、ジムカーナ 1位、ジムカーナ 2位
	第51回愛知学生馬術競技会	愛知学生馬術連盟	12/21-12/22	障害30 3位、障害30 1位、障害60 1位、第2課目B 5位、第3課目A 1位
	第38回中部学生フレンドシップ馬術大会、第4回中部学生レースホースカップ大会	中部学生馬術連盟	3/1-3/2	第2課目B新人 2位、第2課目新人 3位、第2課目新人 4位、第2位、障害30 第1位
	2025愛知馬術大会	愛知学生馬術連盟	4/5-4/6	4科目A 1位、科目A 1位、2科目B 2位
	第34回愛知学生トライアル競技会	愛知学生馬術連盟	5/3-5/4	5科目A 第1位、障害60 第3位、3科目A 第3位
バレーボール部	第16回 Jumping Horse Show Tin Aichi	相生乗馬クラブ・犬山乗馬クラブ	5/23-5/25	障害70 2位
	東海大学バレーボールリーグ戦	東海大学バレーボール連盟	10/6	4部 優勝
	東海大学バレーボールリーグ戦入替戦	東海大学バレーボール連盟	10/27	4部 優勝
ボクシング部	愛知大学男女バレーボールリーグ戦	愛知大学バレーボール連盟	11/16-11/17	4部 2位
	第94回全日本選手権大会愛知県選考会	愛知県ボクシング連盟	7/6-7/15	女子フライ級 1位
	第94回全日本ボクシング選手権大会	公益社団法人日本ボクシング連盟	11/26-12/1	出場

強化指定クラブ相互応援プロジェクト

強化指定クラブ同士の交流を促進し、互いに活動を支え合う関係を築くことを目的に活動を開始しました。5月にはラグビー部の部員たちが、硬式野球部、サッカー部リーグ戦の応援に駆け付けました。今後も強化指定クラブ間での応援活動を広げ、学内のスポーツ文化をより活発なものにしていきます。皆様の温かいご声援が、選手たちの大きな力となります。引き続き本学各クラブへの応援よろしくお願いたします。



法学部

学部長 鈴木 隆

オーダーメイド型の教育で
成長を強力にサポート



法学部では、4年一貫の少人数ゼミを教育上の特色とし、法律関連施設の見学や法律事務所での研修を行う「リーガル・フィールドワーク」、学部教員の支援する「翼法律研究会」、日頃の学習成果を発表する「ゼミ研究発表会」など、多様な学びの機会を提供しています。また、ラーニングポートフォリオを用い、学生一人ひとりを丁寧に指導するオーダーメイド型の教育を展開しています。そのほか、「キャリア実務1・2」を3年次に開講するなど、早期化する就職活動に対しても強力な支援を行っています。

国際文化学部

学部長 鹿毛 敏夫

「違いを越えて世界に挑む力」を
培う国際文化学部生



国際文化学部の学生たちは、4年間の学習で世界中の国々の文化を理解し、国際社会の架け橋となる人材として社会に巣立っていきます。今年度の新入生は、学外で5月に開いた交流会で、まずは友人作りを楽しんでいました。6月のOB・OG交流会では、学部卒の社会人と触れ合い、就職・進学活動等の自己の将来像を構想しました。学部独自の研究奨励金制度を利用して、多くの学生が国内外の現地調査や実践研究を進め、10月の大学祭でポスターセッション発表する予定です。

リハビリテーション学部

学部長 土肥 靖明

実践を通じて未来を築く



リハビリテーション学部では、卒業後の実践的な力を養う教育に力を入れています。熱田保健センターと連携し、地域住民の健康増進に貢献する活動を行うほかイオンモール熱田の健康イベントでは様々な検査機器を用いた体力測定と生活指導にも取り組んでいます。今年度は大学祭にブースを出展し、参加者の運動・バランス能力を測定する企画を予定しており、学びを実社会へとつなげる機会をさらに広げていきます。実践を通じて、学生が専門知識を活かし、社会に貢献できる人材へと成長することを期待しています。

経営学部

学部長 杉浦 礼子

「わかる」から「できる」人へ
～成長を期待～



新設2年目となる2025年度は募集定員を大幅に上回る163名の新入生を受け入れました。本学本学部を選んでくださった新入生および保護者の皆様に感謝いたします。経営学部では、一人の学生に対して基礎セミナーの教員とアドバイザー教員の2名を割り当て、相互理解を深めながら寄り添う指導体制を整えています。新設初年度は、退学者数0名、出席率・GPA共に高い数値を得ることができた1つの要因だと考えております。2年次は企業と連携したビジネス価値創造活動が本格的にスタートします。「わかる」だけでなく「できる」人へ成長することを期待しています。

外国語学部

学部長 米山 雅浩

英語力と就職力、
外国語学部はどちらも追求



本学部ではTOEICの無料受験機会を年2回提供し、継続受験による着実なスコア向上を後押ししています。実際に、初回受験で380点だった平均点が、4回以上の受験で577点に伸びています。4年次には全国の英語専攻学生の平均を上回る607点に達するなど、継続的な学習が確かな成果につながっています。また、1年次から地元企業と連携した課題解決型学習を導入し、実社会で必要な提案力や協調性も育成します。早期から将来の進路を意識させ、卒業後のキャリア形成につなげています。

スポーツ健康学部

学部長 齋藤 健治

瀬戸で大きく成長します



自然豊かな瀬戸キャンパスやその周辺は、落葉樹のなかで桜やツツジが咲き乱れる新入生を迎えた頃の景色から、新緑に包まれた景色に変わりました。そしてホトトギスが夏の早い訪れを告げています。瀬戸は田舎ではありますが、「住めば都」と言われるように、キャンパスの施設と教職員をフルに活用してもらえれば、素敵な学生生活を送れること間違いありません。要は自分の心持ち次第ということであり、心の持ちようも学び鍛えるスポーツ健康学は人生に欠かせない学問といえます。われわれ学部教職員一同は、ご子息ご令嬢のサポートを第一義として努力します。

学生一人ひとりに寄り添う「敬神愛人」の精神

名古屋学院大学 学長 赤楚 治之

平素より、本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本学は建学の精神として「敬神愛人」を掲げ、学生一人ひとりに寄り添い、豊かな人間性と社会で活躍できる力の育成を目指した教育を実践してまいりました。この間、留学、地域貢献、キャリアサポートなど多彩な学生支援プログラムを整備し、各学部においても、学部長が紹介しております特色ある取り組みを展開しています。これからも、教職員一同、学生たちに成長のきっかけとなる多様な機会を提供するとともに、一人ひとりに目を配ったきめ細やかなフォロー体制の充実に努めてまいります。今後とも、皆さまの温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



経済学部

学部長 児島 完二

動画教材の作成・配信による
学びの支援



経済学部は、学生の成長に向けさまざまな取り組みを実施しており、そのひとつがDXの推進です。四半世紀に渡り「教育の情報化」を進め、CCSでのICT活用事例は関係者から高い評価を得てきました。現在、スマホの普及に合わせ動画資料・教材の作成を継続中です。100本以上の学習動画を「経済学部生のための基礎知識100DX」にまとめ、学びを支援しています。また、学外からも視聴できるようYouTubeのNGUチャンネルで「経済数学入門」「経済思想入門」「卒業研究発表会」などを配信していますので、ご視聴ください。

商学部

学部長 上田 幸則

未来社会で活躍する
実践知とスキルを育む場



商学部はビジネスやスポーツビジネスに興味を持つ学生に魅力的な学部であり、国際化・情報化社会に対応するスキルを提供します。1年次は基礎力やアカデミックリテラシーを重視する一方、簿記などの資格講座も履修可能です。2年次からは専門分野をゼミや自主的な勉強会を通じて深く学び、成果の可視化の場として、3年次には日経BP社協賛の研究発表会、4年次には卒業論文報告会を実施しています。就職においては商社、金融機関、メーカー等の人気業種から公認会計士や税理士等の専門職まで、幅広い支援体制を整えています。

MESSAGE

| 学長・学部長からのメッセージ |

現代社会学部

学部長 古池 嘉和

学部創設10周年を迎えて



2025年、現代社会学部は10周年を迎えました。多くの皆さまのお力添えをいただく中で、10周年を迎えられたことに心から感謝いたします。本学部は、1学年の定員が150名と比較的小規模ですが、教員間は勿論、教員と学生の距離が近く、親密な関係性の中で、学生が学び、育っていくことを目指しています。私たちを取り巻く環境は混迷を極めており、社会の今を捉える視点も、常に、感度の高いまなざしが求められます。今後は、20周年を目指して、さらなる飛躍を遂げたいと思っておりますので、皆様方の引き続きのご支援をお願いいたします。

07

COSMORAMA

※6月に寄稿。

COSMORAMA

06

PICK UP *NGU* NEWS

現代社会学部、国際文化学部は2015年4月の開設から10周年を迎えました。
また経済学部の特徴である「BIPプログラム」も2015年秋のスタートから10周年の節目を迎えます。



フレッシュヤーズ・セミナーの様子



2025年度oasiSコンペの様子

現代社会学部10周年イベントを開催します

10th
Anniversary

現代社会学部



現代社会学部は、実社会で活躍できる人材育成を目指して、課題発見・問題解決能力を段階的に養成することを目指し2015年4月に開設しました。それから10年、学生は、複雑な社会にアプローチするため、教室での座学に加え、様々な用意された学部の行事に主体的に参加してきました。

例えば、学内には、学生が気軽に議論する場として「コモンズルームoasiS」を設置していますが、学部では、その場を活かし、学生達が自発的な研究をできるよう制度的にサポートしています。それが「oasiSコンペ(写真)」です。毎年、多くの学生グループからユニークな提案があり、採択された後、助成を受けて研究を行っています。

さらに、今年は、開設10周年を記念したイベントも予定しています。その一つが10月に開催される名学大祭に合わせたオープンセミナーの開催です。セミナーでは、「人生100年時代」に関する基礎知識を学ぶとともに、参加者自らがキャリアデザインを描けるよう、参加者同士の対話を通じた企画を考えています。

名古屋学院大学「国際文化学フェスタ」開催

10th
Anniversary

国際文化学部

国際文化学部は、2015年4月の開設から10周年を迎えました。

2024年10月5日(土)に、開設から10周年を記念して名古屋キャンパスたいほうで「国際文化学フェスタ」を開催しました。このフェスタでは、一般の皆さまに幅広く「国際文化学」の学びと楽しさを知っていただくことを目的とし、「公開フォーラム」や国際文化学を楽しむ様々な体験型イベントを企画・実施しました。

当日は多くの方にご来場いただき、園児や小学生の家族連れから年配の方まで、各ブースを回りながら、世界との触れ合い＝まさに「国際」体験を楽しんでいただきました。

■公開フォーラム「国際文化学から考える歴史と宗教」

鹿毛敏夫学部長講演

戦国大名と秀吉・家康の国際戦略ー講談社現代新書『世界史の中の戦国大名』執筆に寄せてー

卒業生による研究発表

高山右近からみるキリシタンの信仰と歴史／村田奈美恵氏

研究会代表講演

インドの宗教対立ーカシミール問題からみるー／宮坂清准教授

在学生による体験発表

驚きのインドネシア留学体験ー私のなかのイスラーム・イメージ革命ー／池津あかねさん(国際文化学部3年) ※学年は発表当時のものです。



／ 国際文化学を楽しもう! 13の体験型イベント ／

- 世界のごはん部
(インドネシアとフィリピンのスペシャルどんぶり提供)
- はじめてのTOEIC(初級者向け体験型レッスン)
- No Border Cafe(3カ国の留学生とのセッション)
- 世界の絵本読み聞かせ(英語・タイ語・多言語) など

経済学部BIPプログラム「10周年記念フォーラム」

10th
Anniversary

経済学部



BIPプログラム成果報告会の様子

経済学部では、座学で身につけた知識を実践できる場として、実際に企業が抱えている課題をテーマに、その解決策の考案に取り組む「BIPプログラム」を2015年の秋学期からスタートしました。これまでに多くの企業様にご協力いただいており、企業の実際の課題に対して、履修学生はその解決策の考案に取り組んできました。10年目となる2024年時点で、延べ36社の企業に協力を得て展開をしています。

2025年7月19日(土)のオープンキャンパスに合わせて開催した「10周年記念フォーラム〜真に選ばれる大学教育の展開に向けて〜」では、BIP履修生による模擬プレゼンや、BIP履修卒業生をお迎えしてトークセッションを行い、高校生やその保護者さまに経済学部の特色教育とその成果を知っていただく貴重な機会となりました。



◀BIPプログラム



◀BIP紹介動画

全学部共通プログラム

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

本プログラムは、これまで名古屋学院大学で行ってきた情報教育を含めた初年次教育を拡張させ、Society5.0、AI時代といったデータ駆動型社会において、機械学習やAI技術を活用できる人材を育成します。本プログラムは、2024(令和6)年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定されました。

認定有効期限:2029(令和11)年3月31日まで



詳細はこちら



NGUキャリア開発プログラム

本学では社会と通じた学びを創出するため、企業や地域と連携して学部ごとに特色のある取り組みを行っています。座学とは違った実践的な経験を積むことで、将来のキャリア形成に役立てます。各学部の取り組みの詳細い内容はホームページをご覧ください。



詳細はこちら



社会連携センターサポーター学生の活動紹介

社会連携センターの呼びかけに応じて、一緒に活動してくれている学生たち(社会連携センターサポーター)がいます。
今号では、地域のためにボランティア活動を展開している2団体を紹介します。

01 コミュニティ活性化に取り組む「mochiyori」

熱田区内の高齢者率8割超の市営団地でコミュニティづくりに努めているのが「mochiyori(もちより)」です。名古屋市などとの協働で2022年から活動を開始。団地の一室を改装したコミュニティサロンを週1回のペースで運営しています。

mochiyoriはとても温かい場所です。違う年代の方と長期的に関わっていくことで色々な学びがあります。視野が広がり、コミュニケーション能力の向上も実感しています。



共同代表
現代社会学部4年
中島 花茹さん

「楽しくて帰りそびれちゃう」「他の住民の方と話す機会が増えた」など、皆さまからたくさんの嬉しい言葉をいただき、その度にやりがいを感じています。



共同代表
現代社会学部4年
服部 里帆さん

サロンの名称は「みんなの縁側mochiyori」



スマホの使い方教室



みんなで菓子作り



他の学生による行事も開催

02 地域の安全・安心に貢献「熱田プロテクトチーム(APT)」

主に警察官志望の学生によるボランティアサークルが、自主防犯団体「熱田プロテクトチーム」(APT)です。2016年の発足以来、愛知県警察と連携して活動しています。

①地域での防犯啓発活動(駅や商業施設で特殊詐欺対策のビラ配布や声掛けなど)、②小学校での防犯教室(児童がネット犯罪に巻き込まれないよう注意喚起)、③サイバーパトロール(XやInstagramに蔓延する猥褻画像を愛知県警察に通報)が主な内容です。

児童に直接呼び掛ける防犯教室の活動に最もやりがいを感じています。小学生でもスマホを使用する時代。被害に遭わないように、微力ながら貢献したいです。



代表
法学部3年
高田 理央さん

警察と啓発活動



小学校で防犯教室



愛知県警から感謝状



商業施設内で防犯クイズ

社会連携センターは、名古屋学院大学が名古屋市熱田区にキャンパスを開設した際に誕生した部署です(当時の名称は「地域連携センター」)。本学が有する人的・知的資源を自治体や企業、市民、教育機関などに還元し、地域社会の活性化に貢献することなどを目的とし、地域社会を学びの場とした地域実践プロジェクトを展開しています。プロジェクトには多くの学生が参加し、自主性や主体性、協調性などを身につける成長の場となっています。全学部の1年生を対象にした教育プログラム「まちづくり提言コンペ」も開催しています(2014年度に経済学部のみで試行、2015年度から全学部に拡大)。

PICK UP

まちづくり提言コンペ

「提言コンペ」とは、名古屋市熱田区と瀬戸市に向けて「まちの活性化案」を提言するもので、入学間もない1年生たちは、必要な情報を自ら調べ、考えを練り上げて言語化し、PowerPointで提言資料を作成します。その過程で、大学生活で必須の学習スキルを獲得したり、学修内容と地域にどのような関わりがあるかを知ってもらうことが、提言コンペ開催の目的です。

学内審査2回を経て、最終審査に進出する提言を決定します。最終審査の審査員は、名古屋キャンパスの場合は熱田区長、瀬戸キャンパスの場合は瀬戸市長をはじめとする方々に審査員をご担当いただき、学生たちは対面や収録動画でプレゼンテーションを披露します。熱田区長や瀬戸市長に向けて自分の意見を発表するには入念な準備が必要ですが、大きな実りをもたらす機会となっています。

昨年10月末に行われた、2024年度名古屋キャンパス最終審査会では、熱田区長をはじめとする審査員により最優秀賞1件、優秀賞2件が選出されました。最優秀賞に輝いたのは経営学部の林つくみさん。「一人暮らしの高齢者の自宅に学生が下宿し、高齢者が抱える生活の

不安を下宿学生が解消することを狙った住居シェアマッチングサービス」を提言しました。

「高校時代にプレゼンテーションは経験したのですが、うまくいかず悔しい思いをしました。『上手になりたい』『自信をもって人前に立てるようになりたい』という気持ちから、とことんやろうと思って取り組みました」(林さん)

瀬戸キャンパスの最優秀賞には、スポーツ健康学部の富田アンナさんの提言(専門知識を学んだ学生が指導者として有望選手の輩出を目指すスポーツ教室の開催)が選ばれています。



▲表彰式(左)と最優秀賞提言(ともに名古屋キャンパス)



入賞提言で地域貢献イベントを開催

近年は入賞提言を元に、地域貢献イベントを開催しています。2022年度には、ゴミを拾いながらジョギングする「プロギング」の大会を開催して、地域住民への運動機会の提供や、学生の環境美化意識の向上を図りました(写真左)。2023年度と2024年度にはクリスマス会を開催し、地域の高齢者・学生・児童の交流の機会を創出しました(写真右の2つ)。今年度は冬にイベントを開催します。



WELCOME to NGU

{ 留学生インタビュー }



Chatillon Mathis Jules

シャティヨン マティス ジュールさん
2024年秋入学 留学生別科  from FRANCE



出身は、パリ南東部の
ル・クレムラン＝ビセートル

パリのすぐ近くで生まれ育ちました。子どもの頃は、歴史好きの父や弟、妹と一緒に、地下鉄やバスで中心部に行き、オスマン様式の建物が並ぶ通りやルーヴル美術館、エッフェル塔やノートルダム大聖堂などの名所を訪れたり、セーヌ川沿いなどをよく散策していました。また、家から10分歩くだけで日本人街やラテンアメリカ人街にも行けるので、ときどき外国にいるような気分にもなれました。

日本の現代スポーツについて
研究するためNGUに留学

母国にいた時、飛田穂洲の野球及び教育観に関する修士論文を書きました。飛田は、一球入魂の精神を提唱した「学生野球の父」と呼ばれる人です。戦時下でも学生の

思いや人生を優先した彼に感銘を受け、日本のスポーツ史や現代スポーツをもっと勉強したいと思いました。そして、日本語や日本の歴史、国際関係について学べ、日本人向けの授業にも参加でき、スポーツ施設なども整っているNGUに留学しました。

日本の「部活」は独特の文化
社交性も身につく貴重なもの

去年は駅伝について研究し、今は、部活やサークルに在籍する学生や生徒を対象に、学業とスポーツの価値観について研究しています。フランスで青少年がスポーツをする場合は地域のクラブチームに在籍。チームの価値観は、競技力の向上を重視する傾向があります。一方、日本は学校の教育活動として部活があるので、競技以外にも、友だちづくりなどの社交性や人間性も育める点が他国にはない特徴だと思います。

日・仏・英3ヶ国語をいかし
スポーツを通して国々を繋ぎたい

将来は自分が話せるフランス語、英語、日本語を生かし、スポーツを通して色々な国の文化を伝えるのが目標です。例えば、アフリカに行って日本の文化や魅力を紹介したり、逆に日本でアフリカや欧米の文化を伝えたり。自分が身につけた「言葉」と「スポーツ」の考察を駆使して、国と国を繋げる活動をしたいと思っています。



MY FAVORITE

好きな漢字…

繫

1年間の留学生生活を象徴する一文字。友人や経験、将来の目標への繋がりができたので。

故郷の味…

メルヴェイユ

フランスの揚げ菓子で、家庭それぞれの作り方や味がある。ラム酒入りが祖母の味。



好きな名古屋めし…

ひつまぶし

母国では食べる習慣のない鰻の味に感動。特別な順番で食べ進めるひつまぶしにハマる。

日本で驚いたこと…

電車が時間通りに来るので安心できるし、便利。乗客が電車の中で電話しないのも驚き。

日本で行きたい場所…

金沢で前田家ゆかりの場所、兼六園などを巡りたい。四国の渦潮、九州にも行ってみたい。

i-Lounge

アイ-ラウンジプログラム紹介

国際交流拠点である「GLOBAL LINKS (i-Lounge)」では
"語学教育" や "世界の文化" に触れる様々なプログラムやイベントを実施しています。

飯田 哲太さん(経済学部4年)

- 野球とバスケの観戦が好き
- 1年半i-LoungeTA(留学経験者の学生スタッフ)として活動。留学を目指す学生たちのサポートを主にする。留学生と学部生の交流をサポートする企画も運営。

井藤 朱織さん(国際文化学部4年)

- 好きな四字熟語は雲外蒼天
- i-Lounge Paletteを3年。リーダーを務める。留学生との交流や海外に関する様々なイベントを通じて言葉以外でも国際交流できるイベントを運営。

ナクア カリルケイさん(外国語学部3年)

- 読書(洋書)が趣味
- 英語ラウンジ(EL)インターン生を1年半。30分程度の英会話プログラムなどを運営。

i-Lounge Interview

01

i-Loungeはどんなところ?

飯田さん 学年や国籍問わず仲良くなれる場所です。

02

i-Loungeの 好きなイベントは?

飯田さん i-Stage! 毎年12月に有志によるステージパフォーマンスで大盛り上がり!

ナクアさん ハロウィンのイベントです! クイズ大会、仮装大会があり大盛り上がり! 学部生や留学生が仮装して日本にいても本格的なハロウィンが楽しめるのが好きです!

井藤さん 国際フェアです! 12月の下旬に開催され期間中、i-Loungeは国際フェア一色に! 国旗などが飾られ、活気あふれて利用者也増えます!



03

学生スタッフをはじめたきっかけは?

井藤さん 高校3年生の時に参加したオープンキャンパスで、Paletteの先輩に学内を案内してもらったことがきっかけです。元々海外文化に興味があり、もっと知りたいと思い始めました!

04

活動を通して 成長を感じたことは?

飯田さん 対人力、コミュニケーション能力が身についたことです。また、色々な人と関わることで、価値観や考え方を受け入れることができました!

ナクアさん チームで活動することで協調性が身につきました。また、他者の意見を尊重できるようになりました。

井藤さん 周りに助けを求められるようになりました。以前は、ひとりで抱え込んでしまいがちでしたが、活動する中で成長しました。また、言語化能力も高まりました!



05

今後の目標を教えてください。

飯田さん 多くの学生にi-Loungeを通じて、海外に興味や自分自身の可能性を広げてもらえるようになりたいです!

ナクアさん 周りと協力して英語ラウンジの魅力を発信し、より多くの学生に活用してもらえるようになりたいです。

井藤さん イベントを通じて、海外文化をより多くの学生に知ってもらい、海外への壁(ハードル)をなくしてもらいたいです。



TOPICS 変化する公務員試験！?

近年、公務員試験が早期化・簡易化されています。筆記試験では、東海3県の約6〜7割の自治体が、民間企業でよく使用されているSPI試験を導入するようになりました。公務員の人材不足が背景にあると考えられています。

…という訳で、「公務員試験はたくさん勉強しないと合格しない」というのは、ひと昔前の話です。SPI試験は民間企業をメインに考えている学生も併願しやすく、公務員になれるチャンスが大いにあります！

ただし、当然のことながら筆記試験が容易になるほど、倍率は高くなります。SPI試験といえども、余裕を持って対策する必要があります。また人物重視となり、面接対策もしっかり行うことが重要です。

SPI対策は、NGUドリルでも可能ですが、さらに対策を強化したい方は、学内の「SPI対策講座」への受講をお勧めします。民間企業の試験にも役立ちますので、是非受講をご検討ください。（詳細は「2025年度 公務員講座・資格講座案内」の冊子をご覧ください。）

センター紹介

資格センター

資格センターでは、社会で通用する有力な資格講座や、公務員試験対策講座、就職活動対策講座を企画・運営しています。個々の目標や将来像に応じてモデルコースを設定し、段階的に資格取得や試験対策に取り組めるようサポートします。また、公務員志望者への支援も手厚く行っており、公務員専門相談員が常駐し、随時相談を受け付けています。その他、公務員志望者専用学習室の設置や、公務員関連イベントも多数開催しています。



教職センター

教員免許状の取得を目指す学生を支援する部署です。教職課程がある学部に対し、教職関連科目の開講を計画し、その後、教職課程に加入する学生が文部科学省の定める教員免許状取得要件を満たせるよう、履修や単位修得状況をチェックし、アドバイスをしています。教育実習や介護等体験といった学外での実習及び体験があり、極めて重要になります。実習先の確保と同時に、事前・事後指導等でサポートをしています。その他、教員採用試験対策の企画、学習・面接指導等の支援もセンターの役割となります。



「売り手市場」とはいえ、誰もが志望する企業へ就職できるわけではありません。企業が魅力を感じるのには、自立した自ら考え行動できる人材です。学生時代の「自発的な行動」や「挑戦しようという思い」は、就活において「自分という人間」を語る上で重要な経験です。大学生活を自らの視野を広げ成長させる良い機会にしてほしいと思います。

GREETING キャリアセンター長より

「成功のカギは、小さな挑戦の積み重ね」
キャリアセンター長の江口です。私は10年前本学の教員になるまでに、2つの企業で働いていました。最初に勤めた大手銀行では、新卒採用に携わった経験があります。
最近の就活は、若者の減少による人手不足で売り手市場となっています。このため従来は難関大学の学生しか採用しなかった企業も、幅広い大学に門戸を開いており、本学からも大手の有名企業に就職する学生が増えてきました。こうした企業を目指す学生にはチャンスが広がっています。
一方で、売り手市場だからといって、誰もが思い通りに就活を進められるわけではありません。最近「ガクチカ」(学生時代に力を入れたこと)が重視されています。大学時代に何をし、どのように成長したのかが問われるのです。自ら成長の機会を見つけ、それまでの自分ならやらないような面倒なことや大変そうなのに少し勇気を持って挑戦し、その努力を積み重ねることが大切です。本学には、地域・社会連携や



名古屋学院大学
現代社会学部 教授
江口 忍
キャリアセンター長

国際人材育成など、他大学と比べて学生の成長機会が多く用意されています。学生には、そうした機会を積極的に活かしてほしいと考えています。
最近では就活が早期化し、3年生5月の夏季インターシップ(仕事体験)のプレエントリーから、事実上の就活がスタートします。教員として、このような就活の早期化・長期化は良いとは思いませんが、3年生になった時点で、ガクチカ(継続中のものを含めて)を持つことが望まれます。留学のように見栄えのするものでなくて構いません。重要なのは、そのことに力を入れた理由や、取り組み中での苦労、それによって自分がどのように成長したのかをしっかりと伝えられることです。保護者の皆様には、お子さんが何かやってみたくて言った場合、たとえそれが就活に直接結びつかないように見えても、ぜひ背中を押してあげていただければと思います。
キャリアセンターでは、就活全般の相談、各種説明会の開催、エントリーシートの添削や面接指導、NGUドリルなどの就活教材の提供を行っています。手前味噌ではありますが、本学の就職支援は非常に手厚いです。就活が思うように進まない学生も、しっかりと支え、就職決定率はほぼ100%を誇ります。私たちは、学生が最後に笑顔で卒業できるよう、全力でサポートしてまいります。

資格講座一覧

就職試験対策講座

公務員試験総合対策講座(前期・後期)／公務員教養試験対策講座／エアライン業界就職対策講座／就職活動集中対策講座「納得内定ゼミ」／SPI対策講座

資格講座

宅地建物取引士試験対策講座／通関士試験対策講座／旅行業務取扱管理者試験対策講座／ファイナンス・プランニング技能検定2級対策講座／ITパスポート試験対策講座／情報セキュリティマネジメント試験対策講座／基本情報技術者試験対策講座／一種証券外務員試験対策講座／販売士検定試験2級対策講座／日商簿記検定試験3級対策講座／日商簿記検定試験2級対策講座／秘書技能検定試験2級対策講座／サービス接遇検定試験対策講座(2級・準1級)／貿易実務検定C級対策講座／Python3エンジニア認定基礎試験(プログラミング初級)対策講座／MOS Associate(Excel・Word・PowerPoint)試験対策講座

2024年度卒業生の主な就職先

経済学部

横水ハウス／シンフォニアテクノロジー／日本特殊陶業／アルフレッサ／あいちフィナンシャルグループ／静岡銀行／百五銀行／トランコム／日本マクドナルド／ジェイアール東海ホテルズ／Sky／勤次郎／TOKAIホールディングス／国家一般職／市町村職員 他

現代社会学部

ノーリツ／カヤバ／河村電器産業／大和冷機工業／アルフレッサ／萩原電気ホールディングス／あいちフィナンシャルグループ／大垣共立銀行／損害保険ジャパン／名古屋鉄道／ニトリ／ファーストリテイリング(ユニクロ)／トーカイ／マイナビ／市町村職員 他

商学部

トーエネック／大和ハウス工業／三協立山／住友理工／スズケン／あいちフィナンシャルグループ／十六銀行／岡崎信用金庫／日本郵便／東日本旅客鉄道／青山商事／トランス・コスモス／富士ソフト／日本年金機構／三重県庁 他

法学部

トーエネック／スズキ／杉本商事／百五銀行／名古屋銀行／瀬戸信用金庫／日本生命保険相互会社／日本郵便／西日本旅客鉄道／ペリベスト法律事務所／税理士法人Bricks&UK／旭情報サービス／日本年金機構／市町村職員／名古屋港管理組合 他

外国語学部

明治電機工業／第一生命保険／ソラシドエア／伊勢湾海運／日本航空／日本通運／名古屋鉄道／ANA中部空港／ANA大阪空港／ANAエアポートサービス／ドリームスカイ名古屋／フジトランスコーポレーション／日本旅行／エイチ・アイ・エス／ジェイアール東海ホテルズ 他

国際文化学部

トーエネック／一条工務店／日鉄テックスエンジ／ビューテック／ぎふ農業協同組合／ANAウイングス／スカイマーク／全日本空輸／日本通運／中部国際空港旅客サービス／エイチ・アイ・エス／リゾートトラスト／ルートインジャパン／TOKAI／JICA海外協力隊 他

スポーツ健康学部

大和ハウス工業／井村屋グループ／KVK／アイリスオーヤマ／黒崎播磨／日本製鉄／因幡電機産業／杉本商事／岡崎信用金庫／瀬戸信用金庫／フジトランスコーポレーション／東陽倉庫／日本通運／警察官／消防官／学校教員 他

リハビリテーション学部

藤田医科大学病院／愛知医科大学病院／国立長寿医療研究センター／JR東京総合病院／刈谷豊田総合病院／知多半島総合医療機構／名古屋救済会病院／東海中央病院／岡崎市民病院／あま市民病院／あいちリハビリテーション病院／愛知県済生会リハビリテーション病院／羊蹄会／名南会／厚生会 他

就職 決定率

99.1%

就職実績(2024年度卒業生)

学部別就職決定率

経済

99.8%

現代社会

99.3%

商

98.9%

法

99.4%

外国語

98.9%

国際文化

99.0%

スポーツ健康

99.3%

リハビリテーション

100%

PICK UP

最近の就職活動の動向

DATA 2024年度 公務員試験・教員採用試験 合格実績

公務員

国家一般職(中部運輸局)／国家一般職(東海北陸地域)／裁判所事務官／国税専門官／愛知県庁(行政職)／三重県庁(行政職)／名古屋市役所(行政職)／静岡県浜松市役所(行政職)／春日井市役所(行政職)／江南市役所(行政職)／知多市役所(行政職)／新城市役所(行政職)／丹羽郡扶桑町役場(行政職)／海部郡蟹江町役場(行政職)／海部郡大治町役場(行政職)／岐阜県大垣市役所(行政職)／岐阜県中津川市役所(行政職)／岐阜県郡上市役所(行政職)／岐阜県飛騨市役所(行政職)／岐阜県関市役所(行政職)／岐阜県加茂郡七宗町役場(行政職)／岐阜県羽島郡岐南町役場(行政職)／静岡県下田市役所(行政職)／長野県伊那市役所(行政職)／長野県上伊那郡箕輪町役場(行政職)／愛媛県東温市役所(行政職)／名古屋港管理組合／名古屋市交通局／名古屋消防局／豊田市消防本部／豊川市消防本部／岐阜県各務原市消防本部／和歌山県那賀消防組合消防本部／警視庁／愛知県警察官／岐阜県警察官／三重県警察官／長野県警察官／大阪府警察官／愛媛県警察官

学校教員

名古屋市立中学校／愛知県立高校／習志野市立小学校／松戸市立小学校／横浜市立小学校／愛知啓成高校／多治見西高校

SUPPORT #02

キャリアセンターによる支援

個人面談で細やかにサポート

キャリアカウンセリング

職員やキャリアカウンセラーによる個人面談を随時実施しています。就職活動における相談、企業紹介、エントリーシートや履歴書作成の指導、面接練習など多様な支援を展開しています。オンライン面談も導入しており、全てCCS上の予約システムより予約ができます。就職活動に対する不安や悩みの相談にも応じていますので、1・2年生でも気軽にキャリアセンターを利用してください。



4年生から聞く「リアルな就活」

就活サポーター

就職先が内定している4年生が秋から冬にかけてキャリアセンターに在室し、時にはゼミを訪問して、後輩たちに実際に経験して得た就職活動のノウハウをアドバイスする制度です。就活が目前に迫る3年生や漠然とした不安のある1・2年生にとって、先輩たちのリアルな体験は、今しておくべきことや将来のイメージを描くのに役に立ちます。



気軽に実体験を聞き、不安を解消

就活カフェ

内定を得た4年生と気軽に雰囲気就活の話をするができるイベントです。リラックスして話せる雰囲気なので、素朴な質問も気軽にできるはず。就活サポーター以外の4年生も参加しますので、より多様な先輩と話せるチャンス。こちらも1・2年生の参加が可能です。



就活の流れを掴む

就職ガイダンス（3年生向け）

3年生全員を対象に、春と秋に各1回インターンシップを含め就職活動の進め方や求人票の見方・就職情報サイトの活用方法などを説明します。



就活体験報告会

内定者報告会

就活サポーターが“自分自身の就活経験”を後輩に伝えるイベントです。数人の就活サポーターが登場して各々の体験を語るため、一言に就活といっても、多様な視点や価値観に基づいたやり方があると実感できます。個別に質問ができる時間もあるので、志望業界や価値観の近い先輩をみつけたら、じっくり話を聴くこともできます。1・2年生も参加可能。



就活で好結果に繋がる技術を磨く

就職試験対策講座

2024年度は、業界・会社研究、筆記試験・履歴書・エントリーシート作成、面接、グループディスカッション対策などの講座を開催しました。企業の人事採用担当者を講師に迎えた講座もあり、より実践的な内容となりました。今年度も20以上の講座を開催する予定です。



公務員合格者による就活体験報告会

公務員内定者報告会・OBOG座談会

公務員に内定した先輩から就職活動の体験を聞きます。勉強の仕方や民間企業との同時進行など、公務員志望者が知りたい情報が得られます。またOBOG座談会では、現役公務員の卒業生から話を聞けるので仕事理解を深めることができます。



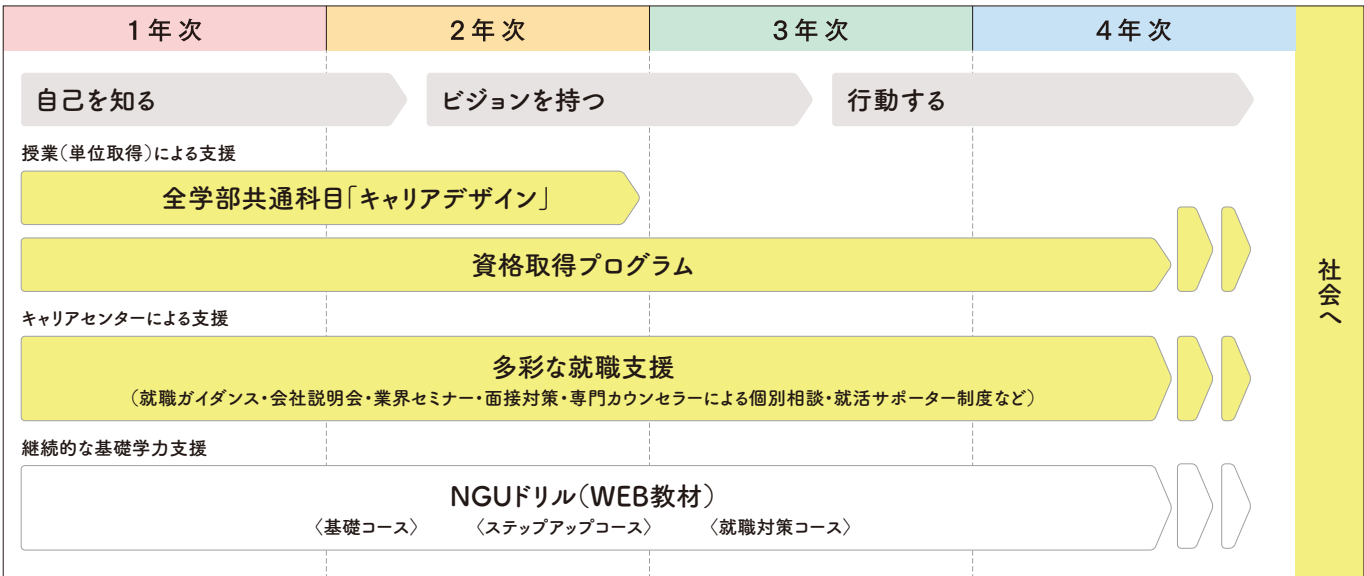
対面形式で各業界の仕事内容、働き方などを人事採用担当者らから直接聞ける

業界セミナー 合同企業説明会

7月・11月の業界研究会、2月の業界セミナー合わせて、のべ400社以上の企業が参加する一大イベントになりました。その日の参加企業全社が登場する「企業の魅力1分間PR」ではじまり、その後1社1教室に分かれて各社じっくり個別説明を行って頂きました。学生も新たな企業との出会いに加え、学内開催ならではの落ち着いた環境で企業の話に集中して聞き入っていました。4年生になると、4月以降合同企業説明会や求人紹介会なども開催し、どのタイミングでも企業との出会いをサポートしています。



キャリア形成支援プログラム



SUPPORT #01

授業（単位取得）による支援

キャリアデザイン

大学で学んだ専門知識や技能を社会で発揮するためには、社会に出てからのスタート地点である就職と、そこから始まる人生についてのビジョンを早い時期から構想することが重要です。本学は1・2年次に「キャリアデザイン」の授業を開講しています。キャリアデザイン専任教員のもと、「なぜ大学で学ぶのか?」「大学生活で何に取り組むべきか?」など自分を見つめ直すところから始め、働く意義の理解や社会人としての基本的教養を身につけていきます。

センター紹介

キャリアセンター

学生が卒業後の進路を考える時、相談窓口となるのがキャリアセンターです。企業選びの相談から、履歴書添削、面接練習など様々な事柄の相談に対応しています。キャリアカウンセラーも常駐しており、対面やオンラインでの相談にも対応しています。また3年生を中心に業界セミナーや就職対策講座、4年生には合同企業説明会なども実施しています。



継続的な基礎学力支援

NGUドリルを活用した
学生の声はこちら



NGUドリル

eラーニングで筆記試験対策を段階的に

就職試験で学力試験は必須。内容や合格基準は企業により異なりますが、中学・高校レベルの数学や国語、社会などが出題されます。そのため、学生にはeラーニング教材「NGUドリル」による自学自習を奨励しています。自分の学力レベルにあった学習が可能、パソコンやスマートフォンでいつでも利用できます。広範囲の備えが必要であり、直前に慌てても間に合いません。低学年次から継続的・段階的に学習していきましょう。



8 就活サポーターの活動を通して、感じたこと、気づいたことなど

河村さん 話を聞いていると、やはり**就活の早期化**がどんどん進んできていて、さらにそれに合わせて多くの学生の**就活に対する意識**も高まってきているのを実感した。

児玉さん 自分が悩んでいたことは**後輩たちも同様に悩んでいる**んだなと感じた。**その不安感を少しでも和らげる**活動が求められるなと感じた。

坂田さん 実のところ、初めは私は就活サポーターとして相応しくないのではと思っていたこともあったが、やはり**学生同士だと就活の相談もしやすい**ようで、後輩の**役に立てたり、感謝される**ことがとても嬉しかった。

下平さん 全体的にイベントは後輩にとってとても良いと感じた。**サポーターの存在を知らない**子が多い印象だったので、**もっと存在感**を出していきたい！ゼミ訪問などは**話し方の勉強**にもなった。

中村さん 自身の**良い経験も苦い経験も**誰かのためになることがあるということ。大学内にも輪が広がり**面白い人が多いことに気づけた**こと。

藤原さん 悩みごと・相談ごとがある人は、大学職員やサポーターに話してみると解決できることが多いかなと感じた。こんなこと聞いて良いの？という**小さなモヤモヤも相談**すると、多少変わるかなと思った。

9 就活全体を振り返っての感想



河村さん 就活をするにあたって自己分析を行うので、これから**社会人になるにあたって自分を見つめ直す**良いきっかけになったと思う。

坂田さん 私は就活を通して、自分自身を見つめ直す良い機会となったし、コミュニケーション能力や行動力などが求められ**自分の殻を破れた**ような気がした。確かに辛いことも多かったが、**困難を乗り越え**また一人の人間として**とても成長できた**と強く実感している。

中村さん 今となっては、「**もっとあえてきた、こうできたと**考えられることも、**その時の精一杯だった**」と思う。力を入れたことやちょっと悔しい経験も踏まえて、アドバイスできる立場の**サポーターとして貢献したい**と思えたので、**意味のある経験だった**と思っている。

藤原さん 企業も学生も**就活の在り方が多様化しつつある**からこそその大変さはあったと感じる。自分なりのやり方で進めるのも大学職員や先輩に助言をいただくのも自由だが、**使える手段を狭めない方が良い**と思った。

5 就活をしてみて良かったことは何ですか??

河村さん 説明会などを通じて、**様々な業界の方々のお話を聞く**機会があり、その都度**世の中の仕組みについて新しく知る**ことができて面白かった。

下平さん 自己分析で**自身のことがより理解**できるようになること、行きたい企業から内定をいただいた時はとても嬉しかった。

中野さん 自分が**どういう人間**でどういったことを**苦手・得意**としているのかを知れたこと。

堀田さん 自己分析を通じて**自己理解が深まった**こと。エントリーシートや面接の質問への回答などを考えることは自己分析が必要。それらを通じた自己分析を毎日行っていたので段々と自分に対する理解度が上がってきた。自己理解を深められたことは今後の人生でも役立つでしょうし、**その過程は意外にも楽しい**ものだったので、良かったと思っている。

6 就活中特に悩んだことはどんなことですか?



児玉さん **勉強**

坂田さん **モチベーションをどうやって維持するか**をよく悩んでいた。就活での失敗が続くと、やる気を無くしてしまったり自分に自信が持てなくなってしまうので、失敗しても次に挑戦していく活力を生み出すことにとても苦労した。

下平さん **アルバイトとの両立**（県外を受けると交通費がかかるため）

中村さん 田舎の**地元**に戻るか、チャンスの多い**都会**で挑戦するか。

7 就活の相談は主に誰にしていましたか?



下平さん キャリアセンターの職員さん、友人、先輩

中野さん 兄

藤原さん 家族

堀田さん 友人。同じく公務員志望の友人が大学では3人、予備校では4人居たので時折相談していた。

OB・OG VOICE

先輩達の就活!



就活サポーターとして後輩へのアドバイスをしてきた先輩たち。後輩のお手本となった彼らも色々な思いを抱えて就活してきました。彼らは、就活を通して何を感じ、どんな言葉やサポートが助けになったのでしょうか?先輩たちに話を聞いてみました。

インタビューに答えてくれた就活サポーター

- 河村 瞭太さん〈就職先〉ダイナバック株式会社
- 児玉 翔生さん〈就職先〉愛知県警察官
- 坂田 優花さん〈就職先〉株式会社マープル
- 下平 早希さん〈就職先〉株式会社Kスカイ
- 中野 僚也さん〈就職先〉株式会社あらた
- 中村 恵理さん〈就職先〉明治電機工業株式会社
- 藤原 宏多さん〈就職先〉株式会社あいちフィナンシャルグループ
- 堀田 了勢さん〈就職先〉名古屋市役所(行政職)

3 その辛かったことは、どう乗り越えましたか?



河村さん 周りと比べず、**自分のペース**で就活をすることを意識して、キャリアセンターの方々に協力していただきながら、**自分だけの強みなどを見つけること**で乗り越えた。

児玉さん なるべく、1人の時間を作らず1日フリーの時間を作って友達と遊んだりして、気分転換を定期的に行っていた。

坂田さん **友人同士で、就活の辛いことを語り合ったり**、親に相談していた。同じ悩みを持つ友人がいるだけでとても心強かったし、**親からのアドバイスや励ましの言葉**がとても有難かった。

中野さん 自己分析を複数回行って自分の特徴を理解し、**実践を通して自信をつけて**いった。

堀田さん 面接が不慣れなことは**今後改善可能**な事で、第一志望である公務員までに課題が見つかって**改善するチャンス**が得られたと考えて切り替えた。基本的に就活中は時間がないので、落ち込んだり面接の熟練度で判断する採用人事を恨んだりするのは**時間の無駄**だと気づき、無理矢理切り替えた。

4 自身の就活を振り返って、もっとこうしておけば良かった、ということはありませんか?

児玉さん **面接練習**はもう少しやればよかった。

下平さん もっと早くから**TOEICの点数**をあげておけば良かったのと、**SPI**もっと早く取り組むべきだった。

中村さん 早くに、そして**自分の売り方を研究**して挑みたかった。

藤原さん もっと**周りの人と協力**すべきだった。情報収集や面接練習などを一人で行うことが多く、**情報不足**や**対人面接の経験不足**を感じたため、一人で抱え込まず協力すればよかったと感じる。

1 就活(インターン、企業研究等含む)を始めてから内定を決定して終わるまでの期間は?

児玉さん 1年5ヶ月
坂田さん 1年
中野さん 8ヶ月
中村さん 4ヶ月



2 就活中辛かったことは何ですか?

河村さん まだ内定がない時期に、**自分と周りの学生を比べて**しまい、**不安や焦り**で精神的に落ち込んでしまったこと。

藤原さん **わからないことばかり**だったことは辛かった。特に就活開始直後は、いつまでに何をどの程度準備をする・しなければならないのかわからず、気づけば準備不足だったことも多々あった。

堀田さん **初めは面接に中々慣れず**に不採用続きだったこと。最初から上手くいくとは思っていなかったが、実際に志望している企業からの不採用を目の当たりにするとショックを受けたり、**自信を無くしたり**することは多少あった。

2025年も昨年度に引き続き名古屋学院大学父母会会長を務めさせていただきます。日頃より父母会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。父母会は、大学の発展に協力するとともに会員相互の親睦をはかることを主な目的とし、学生の修学支援や課外活動支援、就職活動、学生生活に関するサポート等をおして、保護者の皆様と大学をつなぐ様々な活動を行っております。今後も皆様のご意見をいただきながら、より良い父母会運営に努めて参りたく存じます。本年度も引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

父母会会長 加藤 康輔



PICK UP 父母会総会開催

2025年度父母会総会が6月21日(土)、名古屋キャンパスしろとりに開催されました。第1号議案「2024年度事業報告及び決算に関すること」、第2号議案「2025年度役員改選に関すること」、第3号議案「2025年度事業計画及び予算に関すること」を審議し、すべて原案どおり承認されました。また、今年度も同日に教育懇談会(大学主催)が行われ、たくさんの保護者の皆様が大学にお越しになりました。



PROJECT

2024年度 父母会記念事業について

2024年度卒業記念事業として、2003年及び2004年の父母会卒業記念事業として整備した瀬戸キャンパスフットサルコートを更新しました。寄贈以来、クラブ活動や学生同士のレクリエーションの場として広く活用されていましたが、今回のリニューアルにより、今後も学生が安全かつ快適にフットサルコートを使用できる環境が整いました。



2025年度 入学式挙行

2025年4月1日(火)、キリスト教の礼拝式により、Niterira日本特殊陶業市民会館フレストホール(ビレッジホール同時中継)にて、2025年度入学式を執り行い、学部生1、612名(編入学含む)、大学院生18名、留学生別科生14名の新生を迎えました。式では、本学聖歌隊による讃美歌斉唱、神山美奈子宗教部長の聖書朗読・祈祷、赤楚治之学長の式辞の後、大学院・学部・留学生別科新生代表による宣誓が行われました。赤楚学長の式辞では、「自らを大きく『成長』させるため、自らの可能性を大きく広げるためにここにいうこと、そして、失敗や未経験を恐れることなく、自らの『夢』を見つけ、その実現にむけてチャレンジする若者になってほしい、とエールが送られました。



学長表彰者

経済学部(1名)

経済学科 …… 藤原 宏多

現代社会学部(1名)

現代社会学科 …… 服部 風音

商学部(4名)

商学科 …… 有川穂乃香
商学科 …… オエビター・ジュ
商学科 …… 森田 真衣
経営情報学科 …… 高橋 康太

法学部(1名)

法学科 …… 堀田 了勢

外国語学部(2名)

英米語学科 …… 市川 紗波
英米語学科 …… 中村 恵理

国際文化学部(1名)

国際文化学科 …… 林 美緒

スポーツ健康学部(2名)

スポーツ健康学科 …… 揖斐 丈稀
こどもスポーツ教育学科 …… 渡口 音々

リハビリテーション学部(1名)

理学療法学科 …… 外園 凜

■在籍者数一覧(学部・大学院・留学生別科)

2025年5月1日現在

学部	1年	2年	3年	4年	合計
経済学部	296	274	269	331	1,170
現代社会学部	175	175	183	185	718
商学部	228	206	343	357	1,134
経営学部	163	147	—	—	310
法学部	191	185	198	196	770
外国語学部	153	142	140	144	579
国際文化学部	180	156	194	144	674
スポーツ健康学部	134	126	165	164	589
リハビリテーション学部	89	86	84	79	338
合計	1,609	1,497	1,576	1,600	6,282

大学院	修士・博士前期課程		博士後期課程			合計
	1年	2年	1年	2年	3年	
経済経営研究科	8	13	3	1	8	33
外国語研究科	1	3	—	—	—	4
通信	6	23	0	0	2	31
合計	15	39	3	1	10	68

留学生別科	27
総合計	6,377

※学部:3年に編入生3名、4年に編入生3名含む。留年生は4年に含む。

※大学院:修士・博士前期課程の留年生は2年に含む。博士後期課程の留年生は3年に含む。

Parents Conference 2025

2025年度“教育懇談会”

各会場にて2025年度教育懇談会が開催され、大勢の方にご参加いただきました。

今年度の教育懇談会は、6月21日(土)に名古屋キャンパスにおいて開催いたしました。当日は、赤楚学長より本学の教育理念と特色について講演がありました。その後の教員との懇談、各種説明会、相談コーナーでは、教員、職員の話に熱心に聞き入り、相談される保護者の皆様の姿が見られました。また、6月29日(日)には地方会場として浜松・金沢の2会場で開催し、保護者の皆様とお話しする貴重な機会をいただくことができました。次年度も多数のご参加をお待ちしております。



■会場別参加状況

日程	会場	参加人数
6/21(土)	大学会場(名古屋キャンパス)	406名
6/29(日)	浜松会場(ホテルオークラアクティホテル浜松)	23名
	金沢会場(ホテル金沢)	10名
合計		439名



2024年度

瀬戸キャンパス開放day

11月4日(月)に保護者の皆様を対象に瀬戸キャンパス開放dayを開催しました(参加者:33組57名)。当日は、齋藤健治学部長による挨拶の後、2グループに分かれ、授業や施設を見学するキャンパスツアー及び模擬講義が行われました。キャンパスツアーでは、広大なキャンパスを巡りながら、実際の授業の雰囲気などを垣間見ることができ、どのような環境で過ごしているのかがわかり、安心したとお声を多くいただき、盛況のうちに終了しました。





法学部 教授

大久保 紀彦 ゼミ

「公務員・就活対策」を掲げ、民法のなかでもビジネスに関わる契約・不法行為の判例を扱い、就活の不安を感じる学生ニーズに応えるゼミ運営を進めています。「ATM預金払戻しと478条」「サブリースと賃料減額請求」「運送約款中の責任制限条項の対第三者効力」などの判例検討を通じて金融、不動産、サービス業、メーカー等の業界理解を深めて、民間就職につなげます。また、これら民事紛争の背景にある金融・国土交通・経済産業の行政課題とその社会背景を認識することで、行政に携わる公務員の役割・責任も理解してもらいます。

ゼミ生はチームを組んで、企業の訴訟代理人・弁護士として模擬法廷での弁論に挑んでいます。これらを通じて身につけた、チームワークと「逃げずに正面から取組む」姿勢、目標へのチャレンジスピリットで、就活に臨み、それぞれの進路を開拓していきます。



外国語学部 教授

有蘭 智美 ゼミ

有蘭ゼミでは、認知言語学の観点から普段何気なく使用していることばの研究を行います。ことばの意味や表現の仕方は、我々の身体経験に基づき、物事の捉え方を反映しています。認知言語学における主要なテーマの一つは、比喻です。例えば私たちは、恋愛や疫病といった、目に見えず把握しにくいものを、より具体的な戦争に関する言語形式で表現しています（「誠実さが武器だ」や「コロナ最前線の戦い」など）。これは、恋愛や疫病がある点において戦争と類似していることに基づくメタファーです。我々が概念間にどのような類似性を見出しているかを明らかにすることは、我々が恋愛や疫病をどのように捉えているのかを明らかにすることにつながります。

3・4年生合同の時間帯では、発表時、内容はもちろんプレゼンの仕方やスライドについても活発な質疑応答がなされ、学年を越えた交流や助け合いが見られます。卒論については3年生で各自テーマを決定し、研究方法や章立て、論文特有の表現などもゼミで学びながら、レポートや発表でのフィードバックを経て仕上げていきます。



スポーツ健康学部 教授

早坂 一成 ゼミ

早坂ゼミでは、スポーツを「する・見る」だけでなく、「考える」ことを大切にしています。テーマはスポーツ社会学やコーチングに関わる内容が中心ですが、扱うテーマは多岐にわたります。フェアプレーや競技のルール、地域スポーツの役割など、学生自身の関心から研究を深めていきます。スポーツを通じて、社会や人との関わりについて考える力を育むゼミです。

毎週のゼミでは、学生がテーマに沿った発表を行い、意見交換を重ねながら理解を深めています。文献を読み、仲間と話し合いながら、自らの問いに向き合う姿勢を大切にしています。ゼミの雰囲気は和やかで、互いに学び合える環境づくりを心がけています。ときにはチームビルドを通じた交流も行い、チームワークや人間関係の学びにもつなげています。



おすすめ本

Recommended books



『問題解決はマネジャーの初動で決まる!』 東京商工会議所 編 著 (中央経済社)

情報流出、ハラスメント、部下のミスに対する指導、製品事故の発生など。企業の中間管理職として誰もが直面しうる問題がストーリー化されて30ケース収録されています。いかに対策をしてもトラブル発生をゼロにはできません。こんなとき、初動を誤ると問題はより深刻化していきます。もちろん、民法をはじめとする関連法務知識の整理も必要です。内定が出て進路が固まってくる4年ゼミの春学期テキストとして用いています。

おすすめ本

Recommended books



『言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか—』 今井むつみ・秋田喜美 著 (中央公論新社)

オノマトペを通してことばとは何かを根本から問い直す名著。認知科学やAIの分野で見られる「記号接地問題」(記号はどのように意味と結びつくか)を、「身体経験」と「アダクション」(知識を基に時として大胆に推論し、仮説を検証・修正する能力)という観点から紐解いています。高い知能を持つチンパンジーやAIさえもが(本当の意味で)言語を理解し使いこなすことができないのは、これらの経験や能力を備えていないためであると指摘し、日常言語の背後にある深層に迫っています。

おすすめ本

Recommended books



『世界を驚かせたスクラム経営—ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会の挑戦—』 野中郁次郎・川田英樹 著 (日本経済新聞出版)

2019年のラグビーワールドカップ日本大会の舞台裏を描き、大規模イベント成功の鍵を探る内容。多くの困難や利害調整を、現場の知恵やチームの創造力で乗り越えていく姿を通じて、組織運営やマネジメントのヒントが詰まっています。単なるメガスポーツイベントではなく、「スクラム型」の協働がいかに現実の課題解決に役立つかを示し、ビジネスや教育など幅広い分野への応用を促す一冊です。



経済学部 教授

阿部 太郎 ゼミ

景気や物価など経済の動きを大きく捉えるマクロ経済学や、資本主義を歴史的に見ていく社会経済学について学んでいます。それらの分野を軸にして、日本経済の現状やトランプ関税の影響など時々の学生の関心に沿った問題について研究しています。

通常は、ゼミ生と話し合いテキストを選定し、必要な部分をピックアップして読み合わせを行っています。また、各自研究テーマを決め、発表を繰り返しながら、研究報告書や卒業論文を作成していきます。研究以外では、飲み会や学祭での模擬店出店などを行っています。いずれの活動にせよ、学生の自発性を重視しており、学生が本音で話し、議論を楽しんでもらえるような雰囲気やゼミ内でいかに作れるかに腐心しています。



商学部 教授

豊岡 博 ゼミ

ゼミの時間は、主に財務会計の力を身につけることと企業の財務諸表を読む力を身につけることを中心に行ってます。

特に財務諸表を読む力は、現代社会を自分なりに解釈する尺度となりえることを意識してもらえよう、ゼミ生自らの就職活動における企業分析を行う際に活用することを意識した講義内容として展開しています。

そのほか、豊岡ゼミの特長として、学内公認サークル「学力向上委員会」活動を行っていることがあります。この活動はゼミ生たちが自らサークルを運営することで、特に人づきあいでの問題発見力および解決力が向上するチャンスが与えられるということに大きな意義があります。サークルの活動内容は、主に簿記検定を中心とした資格取得の援助を行うことです。サークル活動は講義形式では行わず、参加者自ら問題集を用意して問題を解き進めるといったスタイルです。その際に分からないところがあればサークル生に質問し、サークル生が一緒に解決していくという流れです。



\\あのゼミなにやってるの?\\

ピックアップゼミ

& 先生のおすすめ本

気になるゼミの研究内容をピックアップしてご紹介。

ゼミ紹介

おすすめ本

Recommended books



『ゆたかさをどう測るか—ウェルビーイングの経済学—』 山田鋭夫 著 (筑摩書房)

環境破壊や格差の問題を見ればわかるように、競争を基にGDPを増やしていくことで社会が豊かになるという考え方に限界がきているのが現代かもしれません。本書は、国家と市場以外の第三のセクターに、これまでの「経済のための人間」から「人間のための経済」への転換の可能性を見出しています。ウェルビーイング(豊かな生)が実現される新しい経済社会を構想するためのヒントが詰まった本です。

おすすめ本

Recommended books



『会計の歴史探訪—過去から未来へのメッセージ—』 渡邊泉 著 (同文館出版)

同書の醍醐味は、世界の人物史上800年にも渡り受け継がれて、現代でも展開されている簿記および会計における歴史の変遷を会計学歴史学者が真摯に取り組んでいるところにあります。企業の出来事(取引)をお金という尺度で取り扱う簿記会計に対して無機質なイメージを持たれている方も多い中、そこに会計の人間臭さの側面(人間が歴史的に簿記会計の技術や会計思考を繋いでいる側面)に焦点を当てているのが秀逸です。学生にとっては、簿記会計の旅タイムマシンに乗って(載っているものをおって)楽しんでもらいたいです。

各分野の専門家でもある先生方の研究室にお邪魔すると、普段は聞けないようなお話を聞くことができました。

●学生時代

自分の興味のある分野について熱中して勉強する学生でした。法学部に所属していましたが、法を使って仕事をするなら社会、現地を知る必要がある。現地を知るため、社会について学ぶ自主的勉強会に参加しました。それから、英会話サークルに加入するなど、英語の勉強にも注力しました。

●専門分野

フィリピンについて研究をしています。1987～1989年、1997～1998年には、フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学に留学しました。



お土産を片手に思い出を語ってくれました。

ご出身 中央大学法学部卒。上智大学大学院外国語学研究所国際関係論専攻博士後期課程修了。2005年から名古屋学院大学に勤務。特技は子どもたちと一緒に作っていた経験からパンづくりです。好きな食べ物は、こしのきいた讃岐うどんです。

担当科目 今年のゼミでは『フィリピンと日本―戦争・ODA・政府・人々』を使い、学生にしっかりとフィリピンのことを知ってもらい、考えてもらうようにしています。グループ討論を取り入れて、学生たちに積極的に討論をしてもらっています。また、秋学期は戦争と平和の資料館「ピース愛知」を訪れ、戦争と平和の問題を考える予定です。その後はゼミ論、卒論の発表に移ります。

おすすめの授業は、「現代アジア文化社会論」。フィリピン文化社会論を軸に、歴史、観光を客観的に分析します。

学問との出会い 大学院時代に東南アジアを研究するゼミに所属したことが始まりです。始めはどこに行こうか、迷いました。そこで、フィリピンの男性と知り合ったのをきっかけに、フィリピンを訪れました。当時、活発に日本企業が進出し、公害も発生していました。ショックを受けて帰りました。しかし、その後、フィリピンの観光ガイド書の取材で訪れた際、フィリピンの皆さんに親切にしてくださいました。ことから興味をもち、研究テーマをフィリピンにしました。

今、興味のあること 愛知県の離島・日間賀島に興味を持っています。3年後に控えた定年を見据え、島に定住を考えています。

Profile

国際文化学部 教授
佐竹 眞明



Let's NGU LABORATORY

研究室探訪

●学生時代

海外旅行に行くことを目標にアルバイトをして、念願叶い初のアメリカ旅行に行きました。旅行中テロに遭遇する予期せぬ事態に遭遇しましたが、現地の日本人コミュニティに助けられ無事帰国することができました。

●専門分野

社会福祉学・高齢者福祉。特に子育てと介護を同時に担うダブルケアの方たちが、大変さを抱え込みすぎることなく、ケアの受け手も支え手もともに安心して暮らせる社会の実現を目指し、支援モデルの構築に向けた研究を進めています。ダブルケア支援団体の共同代表も務め、行政や支援団体、地域の方々とともに当事者の方たちの集いの場・相談の場づくりや、啓発イベント、専門職向けの研修などを行い、理論と実践の双方から考えています。

ご出身 名古屋生まれ、瀬戸市育ち。ゲームが趣味で、家族でボードゲームカフェに行ったりしています。大学時代に福祉を学び社会福祉士の資格を取得。大学卒業後は、資格を生かし特別養護老人ホームや病院、地域福祉の現場で長年、ソーシャルワーカーとして支援に携わりながら大学院で社会福祉学を学びました。

担当科目 「まちづくり学」、「まちづくり演習」、「上級まちづくり演習」を担当しています。中でも「まちづくり演習」は、実際に学生が「体験」することで、学ぶきっかけや、現状を知ること、授業を契機に何か貢献しようと思える授業になるように心がけています。

カードゲームを通じた啓発 これまで防災やダブルケア、ヤングケアラーについての理解を深めるための、様々な啓発ツールを学生たちとともに製作してきました。特にカードゲームは、普段話づらい事も世代を超えて意見交換でき、交流のきっかけになるのが魅力です。ダブルケアなどの社会問題に関する内容をゲームとして作成すると、当事者の方のエピソードがどうしても簡潔化されてしまい、問題を軽視しているように思われるかもしれません。これについては、当事者団体の方々と学生たちが意見を出し合いながら、シリアスさとわかりやすさのバランスをとりながら、納得できるものになるよう努めてきました。カードゲームを通じて、当事者以外の方にも問題を認知してもらい、理解度・認知度の向上に繋がって行きたいと思っています。



学生と一緒に作った啓発ツールの数々

Profile

現代社会学部 講師
澤田 景子



●学生時代

専門学校時代は、土曜日にも講義がありタイトなスケジュールでしたが、プライベートも充実した日々を過ごしました。

●専門分野

関節の動きが悪くなった状態を拘縮といいます。拘縮時に関節構成体組織がどのような変化をするか、またそれは可逆的なのかをテーマに、動物実験を通して研究を実施してきました。また、変形性関節症に対する理学療法の効果についてもラットやマウスを用いて検討してきました。近年では卒業生が勤務している施設等に協力いただいて、変形性関節症に対する理学療法効果についての臨床研究もさせていただいています。

Profile

リハビリテーション学部 教授
渡邊 晶規



ご出身 岐阜県出身。藤田保健衛生大学リハビリテーション専門学校(現藤田医科大学)を卒業して理学療法士に。病院で働きながら金沢大学大学院を修了し2007年から名古屋学院大学に勤務。お酒の席がとて好みで、卒業生やゼミ生と飲みに行くこともあります(もちろん参加は任意です笑)。卒業時にゼミ生からもらったお酒は大切にしています。特技といえるほどではないですが、父親の影響で始めたバスケットボールは小学校から30歳くらいまでプレーしていました。

担当科目 担当している授業の中でも、「実践ゼミナール」はオススメです。夏季休暇の3日間、大学と提携している病院で実際に患者さんと接し、観察や検査測定などを実践します。モチベーションが高い学生には、目標を高く持つてもらい、実習に挑んでもらいたいです。

学問との出会い 理学療法士として働き始めた新人の頃、患者さんと向き合う中で、関節の動きをよくすることが、最もセラピストの能力に依存する治療だと感じました。真っ先にこの能力を高めることがレベルアップするために必要だと考え、大学院で専門分野の学びを深めたことがきっかけです。大学院への進学を進めてくれた恩師と、大学院の指導教員が友人関係にあったことも巡り合わせだと感じています。

ご出身 岐阜県出身。藤田保健衛生大学リハビリテーション専門学校(現藤田医科大学)を卒業して理学療法士に。病院で働きながら金沢大学大学院を修了し2007年から名古屋学院大学に勤務。お酒の席がとて好みで、卒業生やゼミ生と飲みに行くこともあります(もちろん参加は任意です笑)。卒業時にゼミ生からもらったお酒は大切にしています。特技といえるほどではないですが、父親の影響で始めたバスケットボールは小学校から30歳くらいまでプレーしていました。



学生から卒業時に送られたオリジナルのラベルが貼られたお酒

●学生時代

学生時代、アメリカに留学した際は、日本人だけでなく様々な国の学生と仲良くしていました。日本とは異なる文化や社会に驚きながらもいい経験になりました。

●専門分野

研究分野は国際マーケティングです。今年度のゼミでは、企業間連携を現在7社、1自治体と行っています。メールなど企業とのやりとりを通じて、学生たちには社会人としてのマナーを身につけるきっかけにもなっていると思います。ゼミは和やかな雰囲気です。時には厳しく指導することもあります。卒業式や社会人になってから毎年実施されているゼミ合同パーティー等で成長した姿をみられることが教員としての喜びです。

Profile

経営学部 教授
岡本 純



ご出身 愛知県出身。アメリカの大学を卒業後、アメリカの一般企業で働いたのち帰国。その後、日本で教員をしています。特技はスポーツ全般です。好きな食べ物はジャンクフードですが、今は健康も考えて和食を食べています。ジャンクフードの中ではピザが好きです。今でもジャンクフードを食べたら学生より食べられると思います。

担当科目 国際マーケティングの授業では、国内と国際のマーケティングにおける外部環境の違いを、政治・経済・社会・文化、法律などの側面から理解し、国際マーケティングの必要性を説く授業です。特に、国境を跨いだ市場環境で展開されるという点で国内マーケティングとは大きく異なることから、企業がどのように適応するかを理解することが主目的となります。座学だけではないマーケティングを肌で感じて学ぶことが大切です。

学問との出会い 母方の実家が卸問屋を営んでいたこともあり、小さな頃から商売に興味を持っていました。当時日本に導入されたフランチャイズについて興味をもち、商業やマーケティングを勉強したいと思ったことがきっかけです。

ご趣味について教えてください。 趣味はモータースポーツ観戦です。中学1年の時に初めて友人たちと富士スピードウェイで開催されたF1をみて虜になりました。そのエンジン音、スピード、時に飛んでくるタイヤのゴムカスなど興奮したのを覚えています。



Student Support Campaign

【販売期間】授業実施期間中

学生応援キャンペーン

学生食堂の特定メニューを300円(通常550円～650円)で提供します。

「名古屋キャンパス」

曙館1階学生フードバー、曙館2階カフェテリア、
希館1階ビストロ大地で数量限定販売



曙館1階
フードバー



希1階
ビストロ大地



曙館1階
フードバー



曙館2階
カフェテリア

〈ひびの〉創館1階、〈たいほう〉言館1階では、日替りで弁当を販売しています。

学生に栄養バランスのとれた食事を提案し、
物価の上昇に伴う学生生活の
負担を軽減することを目的に、
お値打ち価格でランチ販売を行っています。

「瀬戸キャンパス」

学生食堂でランチを数量限定販売



※メニューは一例です。

学生がほっとできる“居場所”をつくっています

大学生生活支援室を開設しました

このたび、学生の皆さんが安心して大学生活を送れるよう、
「大学生生活支援室」を開設しました。



【場 所】

名古屋キャンパスしとり 希館2階

【開室時間】

平日12時15分～15時まで

※臨時閉室している場合は、
学生サポートセンターへお越しください。

【問合せ先】

052-678-4086

※学生サポートセンターに繋がります。

大学生生活支援室は、名古屋キャンパスの学生サポート
センターの分室として設置された、学生支援に特化した
スペースです。予約は必要ありません。どなたでも気軽に
立ち寄れる環境を整えておりますので、ひとりで抱え込ま
ず、安心してご利用ください。ご不明な点がございましたら、
大学生生活支援室までお問い合わせください。

このようなときに大学生生活支援室をご利用いただけます

- 人の目線や会話が気になってしまうので、ひとりの時間を作りたい。
- 困りごとをどこに相談すればいいのかわからない。
- 心身の不調から思うように授業に参加できないので相談したい。
※障害のある学生の修学支援(合理的配慮)の申請、相談も受け付けています。

“気になる”を PICK UP

Essay

エッセイ

File Number

55

万博と私



現代社会学部 教授
小林 甲一
(コバヤシ コウイチ)

先日、大阪・関西万博を視察してき
ました。これで、国際博覧会事務局
(BIE)が認定した博覧会を訪れた回
数は跡地調査も含めると10回になりま
した。瀬戸内海の島から親に手を引かれ
て1970年の大阪万博に行ったとき
にはまさかこんなことになるとは……
むしろ、人気のパビリオンに入ろうと炎
天下で2時間以上並んだためにフラフ
ラになったことがトラウマになり、その
種のメガイベントには近づかないよう
にしています。それが、本学の瀬戸キャン
パスの近くで2005
年に愛知万博が開催さ
れることが決まると、少
し大げさですが、私の研
究活動は大きく変わ
りました。

こうして万博との出会いは、私の研
究者人生に彩りを与えてくれました。
そこには、セレンディビティ(予期せぬ偶
然がもたらす幸運、またはそのような
幸運を引き寄せる力)を感じることが
できます。そして、もちろん、その力が
功を奏したのは万博がもつエンパワ
メントの恵みでもあります。「もはや万
博の時代ではない」とは確かですが、
そこに新たな発見や機会があることも
同じくらい確かなのではないかと私は
思っています。

会効果」に関する研究プロジェクトを立
ち上げ、1998年から愛・地球博が終
わるまで盛んに研究調査を展開し、その
後も国際博の会場を訪れたり、韓国・麗
水や上海のフォーラムに招待されて講
演したり……。気がつけば、国際博の開
催効果を社会的視点から俯瞰的に考察
する数少ない専門家になっていました。
そのため、大阪・関西万博の開催が決
まったとき、さらに2023年夏にその
開催が問題になったときにはキー局の
ニュース番組に呼ばれ、全国紙の記者か
ら多くの取材を受けました。まさか生
きているうちに3度目の万博が日本で
開催されるとは思ってもみなかったです
し、社会政策を専門とする私が万博に
ついて語るのは今でも気恥ずかしいので
すが……。

LECTURE DIARY 私の講義日誌 vol.43

今回は スポーツ健康学部 教授 **菊池 八穂子**

社会科は社会問題解決科



小学校教員を目指す学生に「社会
科教育法」の講義を担当している。
小学校教員33年の経験を生かすこ
とのできるやりがいのある仕事であ
る。ほとんどの学生にとって社会科と
は、暗記するだけの教科だ。小学校
の現場でも、国語の授業かと思うよ
うな教科書読み取り授業が横行して
いる。
「社会科」とは「社会問題解決科」
でもある。身の回りの社会問題の原
因と結果の因果関係を解明し、解決
方法を考える。そこまで社会科の
授業の中でやってこそ、社会に参画す
る力を養うことができるのではないか
、という考え方に私は賛同している。

「なぜ〇〇なのか？」を中心発問と
する概念探究学習だけでも、社会科
の授業は楽しい。暗記のレベルの具
体的知識の習得にとどまらず、事象の
背景を説明することのできる説明的
知識、さらに、他の事例にも応用で
きるような概念的知識を習得させる
ことのできる社会科授業作りの楽しさ
を学生に伝えたい。
さらに、社会は順応するばかりでな
く、創り上げていくものだと思えてき
る授業は、小学校段階でも可能であ
ると考える。社会科を学び始める小
学校段階こそむしろ社会に主体的に
関わる価値を教えるべきだろう。社会
は複雑で理解できないという抵抗感
や、自分一人の力では社会を変えるこ
となんてできないという無力感を払拭
することのできる社会科授業開発が
私の研究のテーマである。研究の成
果を少しでも学生に還元していきたい。
3・4年のゼミ生には文献調査や
論文分析だけでなく、実際に仮説を
証明するための実践に挑戦してみろ
とを求めている。他者の論を引用す
るだけの卒業論文ではつまらない。得
られた知識をどのように活用するの
か、現場で確かめてみよう。有り難いこ
とにゼミ生は、教育現場で授業実践
させていただけたり、各種団体の協力を
得ることができたり、地域の方々に支
援していただいて、良い機会に恵まれ
ている。感謝する毎日である。

大学創立60周年記念募金の御礼と御報告

大学創立60周年を記念して実施しておりました「大学創立60周年記念募金」を2025年3月末日をもって終了させていただきました。2024年8月発行のCOSMORAMA104号にて上期(2024年1月から2024年6月)の募金状況についてご報告させていただきましたが、今回は下期(2024年7月から2025年3月末日)の募金について、寄付者ご芳名をまとめさせていただきました。

大学創立60周年記念募金では目標金額を5,000万円としておりましたが、募金総額 50,311,575円に上る温かいご支援を賜り、目標を達成することができました。在学生御父母様や本学卒業生の皆様をはじめ多くの方々にご賛同いただき、多大なご寄付をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

従来から実施しております「教育研究振興資金」の募金につきましては引き続き募集を行い、大学の教育・研究の充実発展に必要な経費及び施設充実のための資金とさせていただきますたく存じます。今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大学創立60周年 記念募金	〈213件〉 26,707,528円
2024年7月1日～2025年3月31日入金分	

在校生父母	〈72件〉 1,140,000円
-------	-------------------------

- 浅野 彰吾 ●川口 恭弘 ●田口 伸 ●丹羽 恵理 ●安久 直彦 ●安部 隆義 ●木村 芳雄 ●竹内 一典 ●野口 竜吾 ●山田 桂一 ●井口 大輔 ●日下美由紀 ●竹田 和佛 ●羽田 浩二 ●山田 和弘 ●井戸 敬二 ●倉永 直樹 ●塚本めぐみ ●原 光生 ●湯浅修二郎 ●稲田 孝臣 ●近藤 良雄 ●徳田 明子 ●平野 平 ●吉安 裕之 ●梅田 千鶴 ●佐藤 貢一 ●鳥居 孝稔 ●古田 克宏 ●米田 政雄 ●太田 奈歩 ●柴田 和人 ●中野 宏治 ●水野 利哉 ●和田慎一郎 ●加藤 秀樹 ●島木 潤 ●中村 重明 ●南井 泰治 ●匿名希望29名 ●加藤 裕二 ●高柳 愛野 ●西村 和秀 ●村本 匡章

同窓生	〈49件〉 1,072,000円
-----	-------------------------

- 浅野 政司 ●太田 稔人 ●澤田 修一 ●名川 博勝 ●三山 真弘 ●渥美 弘光 ●大平 恵則 ●杉浦真知子 ●橋田 満 ●三輪将太郎 ●天野 栄 ●小川 富也 ●杉江 統孝 ●平野 哲夫 ●山下 卓司 ●伊藤 忠治 ●小澤 哲廣 ●杉田 美佳 ●藤田 勝彦 ●山本 紳司 ●今莊 哲廣 ●北原 信也 ●杉野 祐敬 ●藤本 哲文 ●吉田 明広 ●上田 金男 ●久郷 克己 ●谷田 保朗 ●堀田 宏之 ●匿名希望12名 ●浮海 宏之 ●後藤 大介 ●内藤かずみ ●堀 英一 ●打田 克弘 ●齋藤 文彦 ●中島 良宏 ●養内 理恵

その他	〈15件〉 15,183,000円
-----	--------------------------

- 石塚 紀夫 ●立花千加子 ●日本基督教団熱田教会 ●伊藤 嘉浩 ●中野 茂男 ●野口 大作 ●岩田 宣清 ●名古屋学院敬愛同窓会 ●渡邊 美和 ●株式会社NGUブラッ ●名古屋学院大学父母会 ●匿名希望 3 名 ●基督教大韓監理会ソウル年会 中区龍山地方会 監理史一同

役員・教職員関係	〈49件〉 2,663,000円
----------	-------------------------

- 【役員・評議員】 ●西中 利也 ●伊藤 彰 ●丹羽 吉彦 ●平松 正幸
- 【退職者】 ●秋元 浩一 ●加藤 雅信 ●内藤 和美 ●水田 健一 ●匿名希望 2 名
- 【教員】 ●阿部 太郎 ●川村 隆子 ●齋藤 健治 ●土肥 靖明 ●宮坂 清 ●伊沢 俊泰 ●工藤 泰三 ●澤村 雅史 ●野尻 洋平 ●横井 志保 ●石原 俊之 ●國井 義郎 ●外島 健嗣 ●松田 克彦 ●匿名希望11名 ●岩出 和也 ●肥田 朋子 ●高木 直人 ●三矢 勝司
- 【職員】 ●稲葉 諭香 ●小林 豊 ●高橋 公生 ●中田 翔 ●山田 千晴 ●今井 辰也 ●白金 裕基 ●立花 伸介 ●牧野 雅 ●匿名希望20名 ●遠藤あおい ●新藤 康史 ●出口 博也 ●箕浦 太郎 ●倉知 孝明 ●杉原 啓公 ●南井 隆志 ●三宅 基幸 ●小島 千明 ●杉山 晃一 ●中島 崇 ●村松 竜也

企業	〈28件〉 6,649,528円
----	-------------------------

- 株式会社アイ・アンド・キューアドバタイジング ●愛知株式会社 ●株式会社旭ライト ●エヌビーエス株式会社 ●株式会社クイックス ●株式会社三晃社 ●株式会社創工社 ●中電クラブス株式会社 ●東海東京証券株式会社 ●東洋熱工業株式会社名古屋支店 ●株式会社トーエネック中部本部 ●株式会社ドーマン・アイシー ●有限会社ビート米会話
- 株式会社For Ability ●富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 ●藤吉工業株式会社 ●株式会社ベースキャリア ●豊栄交通株式会社 ●株式会社マイ・エス・スイミング ●有限会社馬健 ●松本テクニコ株式会社 ●株式会社源商会 ●株式会社ミニミニ ●株式会社ライセンスアカデミー名古屋支社 ●匿名希望 2 件

(敬称は略させていただきます)

寄付特典について

ご好評につき、名古屋名物みそかつの有名店矢場とんの返礼品を今年度も継続して実施します!



※「冷凍便」でのお届けになります。 ※商品内容は寄付募集期間中に変更になる可能性があります。



寄付金額10,000円以上

2025年度 教育研究振興資金の募集

2025年度のエデュケーション振興資金募集では、これまで実施してきた「教育研究環境の充実」を目的とする募集に加え、新たに「学生食堂を通じたフードテラシー活動の推進」を目的とした寄付募集を実施しています。本学のエデュケーション活動を今後も維持し、持続的に発展させていくためには、皆様からのなお一層のご支援が必要となります。どうぞ私どもの活動をご賢察いただき、本学のエデュケーション活動の一層の充実と発展のためご協力を賜りますようお願い申し上げます。

詳しくは、こちらからご確認ください。

NGUホームページ

<https://www.ngu.jp/outline/donation>

【お問合せ先】名古屋学院大学 財務課募金係 TEL.052-678-4084



Financial Information

『2024年度決算・2024年度事業報告及び2025年度予算』

学校法人名古屋学院大学の2024年度決算、2024年度事業報告及び2025年度予算は、2025年5月28日の理事会と評議員会で承認されました。なお、2024年度決算、2024年度事業報告及び2025年度予算につきましては、概要及び計算書類を本学ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

NGUホームページ

<https://www.ngu.jp/outline/information/finance/>

2025年度

父母会予算 父母会決算

2024年度

2025年度名古屋学院大学父母会予算(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:円)				
収入の部				
科 目	2025予算①	前年度予算②	差異①-②	摘 要
会 費	25,128,000	24,720,000	408,000	(全学部生)@4,000×6,282名
特別会費	7,415,000	6,785,000	630,000	(4年次生)@5,000×1,483名
受取利息	5,000	200	4,800	預金利息
前年度繰越金	4,093,592	5,200,353	△ 1,106,761	
収入の部合計	36,641,592	36,705,553	△ 63,961	

(単位:円)				
支出の部				
科 目	2025予算①	前年度予算②	差異①-②	摘 要
学生教育活動費	[17,530,000]	[20,050,000]	[△ 2,520,000]	
学生修学等補助	7,380,000 ※1	7,400,000	△ 20,000	
学生行事補助	2,500,000 ※2	5,000,000	△ 2,500,000	
課外活動補助	4,300,000 ※3	4,300,000	0	
就職活動補助	3,350,000 ※4	3,350,000	0	
学生厚生費	[5,238,000]	[3,212,000]	[2,026,000]	
学生厚生費補助	5,238,000 ※5	3,212,000	2,026,000	
運営費	[3,630,000]	[3,480,000]	[150,000]	
会議費	500,000	400,000	100,000	役員会、総会等運営費用
事務用品費	50,000	50,000	0	メールシール、ファイル他
備品費	30,000	30,000	0	
印刷費	900,000	900,000	0	総会開催案内通知等
郵便費	1,850,000	1,800,000	50,000	総会案内、コスモラマ等
慶弔費	250,000	250,000	0	学生等対象
雑費	50,000	50,000	0	振込手数料他
卒業記念事業	[7,415,000]	[6,785,000]	[630,000]	
卒業記念事業	7,415,000	6,785,000	630,000	2025年度分 @5,000×1,483名
会員親睦事業	[500,000]	[500,000]	[0]	教養講演会、会場料、運営費等
寄付金	[0]	[1,000,000]	[△ 1,000,000]	
予備費	[500,000]	[500,000]	[0]	
前期末未払金支払支出	[0]	[0]	[0]	
次年度繰越金	1,828,592	1,178,553	650,039	
支出の部合計	36,641,592	36,705,553	936,039	

※1 学生修学等補助

学業奨励金	180,000
父母宛成績送付補助	2,750,000
教育懇談会運営補助	1,800,000
資格取得奨励金等	750,000
資格試験等受験補助	900,000
資格講座補助	750,000
障害学生修学支援補助	250,000
合計	7,380,000

※2 学生行事補助

大学祭補助	2,500,000
合計	2,500,000

※3 課外活動補助

クラブ備品援助	1,800,000
教職員指導補助	1,200,000
クラブ遠征補助	1,200,000
テーピング講習会等補助	100,000
合計	4,300,000

※4 就職活動補助

業界セミナー運営補助	350,000
キャリアカウンセラー補助	3,000,000
合計	3,350,000

※5 学生厚生費補助

防災備蓄品等補助	800,000
学生の食支援補助	3,500,000
美術館観覧料補助	938,000
合計	5,238,000

2024年度 父母会決算

詳細はこちらから
ご覧いただけます。



2024年度

同窓会決算書

●貸借対照表(2025年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	2023年度(a)	2024年度(b)	差異 (b-a)
一般積立引当特定預金	43,600,000	46,600,000	3,000,000
普通預金	27,066,495	14,606,845	△ 12,459,650
郵便貯金	4,408	0	△ 4,408
郵便振替	906,679	975,249	68,570
現金	82,126	160,294	78,168
合計	71,659,708	62,342,388	△ 9,317,320

負 債 の 部			
科 目	2023年度(a)	2024年度(b)	差異 (b-a)
負債の部 計	0	0	0

正 味 財 産 の 部			
科 目	2023年度(a)	2024年度(b)	差異 (b-a)
一般積立	43,600,000	46,600,000	3,000,000
預貯金	28,059,708	15,742,388	△ 12,317,320
正味財産の部計	71,659,708	62,342,388	△ 9,317,320
合計	71,659,708	62,342,388	△ 9,317,320

●収支決算書(2024年4月1日 ～ 2025年3月31日)

(単位:円)

収入の部				
科 目	予算額(a)	決算額(b)	差異(a)-(b)	備 考
前期繰越金	28,059,708	28,059,708	0	
会費収入	28,000,000	26,900,000	1,100,000	卒業1342名、終身会費6名
受取利息・雑収入	2,000	11,089	△ 9,089	受取利息
55周年記念事業費	0	0	0	
合計	56,061,708	54,970,797	1,090,911	

支出の部				
科 目	予算額(a)	決算額(b)	差異(a)-(b)	備 考
人件費	2,500,000	2,035,400	464,600	職員1名分
通動手当	200,000	135,600	64,400	職員1名分
交通旅費	700,000	629,600	70,400	理事会・委員会交通費・代議員会交通費
通信費	300,000	196,450	103,550	電話代・プロバイダー・郵送代・年賀状制作
事務用品費	400,000	238,060	161,940	コピープリント料・用紙・封筒
什器備品費	100,000	100,000	0	事務局コピー機設置費
慶弔費	200,000	56,190	143,810	祝金・お香典・供花
会議費	2,500,000	1,614,885	885,115	代議員会2回・理事会11回
広告宣伝費	100,000	100,000	0	敬愛同窓会会報広告料
卒業記念品費	7,500,000	7,484,550	15,450	記念品1380個・ご案内印刷(約2年分)
学生活動補助費	3,600,000	3,258,497	341,503	大学祭・保護者入学生活動表彰金・卒業パーティ飯金・卒業花
広報情報活動費	8,000,000	6,551,133	1,448,867	会報36号 冊子版・デジタルブック版・告知はがき・電子希望
事業費	5,000,000	4,489,597	510,403	会報36号 ホームページ管理・更新・ロゴ制作・名刺作成費
支部活動費	2,000,000	1,908,380	91,620	第26回ホームカミングデー
業績別事業費	600,000	600,000	0	活動費・案内状郵送・参加者補助費・交通旅費
雑費	100,000	82,267	17,733	不動産部会活動費 350,000円
一般積立金	3,000,000	3,000,000	0	国際交流部会活動費 250,000円
奨学金	300,000	300,000	0	60周年記念事業費積立金
予備費	1,500,000	1,447,800	52,200	5名
大学60周年援助事業費	5,000,000	5,000,000	0	大島健吾選手寄付 1,000,000円
55周年記念事業費	0	0	0	事務局コピー機搬入設置費 447,800円
補正予算	0	0	0	寄付
支出計	43,600,000	39,228,409	4,371,591	
次期繰越金	12,461,708	15,742,388	△ 3,280,680	
合計	56,061,708	54,970,797	1,090,911	

集え、学べ、NGUに!

2025年度入試結果と2026年度入試にむけて

2025年度入試の総志願者は11,473人(前年度比+1,858人)、入学者は1,609人迎えることができました。また、入学者に占める女子学生比率も上昇いたしました。

18歳人口の激減期の中、高等教育機関を取り巻く環境はさらに厳しい状況となっておりますが、今後も入試内容の点検と見直しをたえず行い、受験生のニーズ等を的確に捉え、入試改革・入試広報活動を行ってまいります。

各入試の詳細は入学試験要項及び大学案内でご確認ください。

2026年度入学試験日程
および選考スケジュール



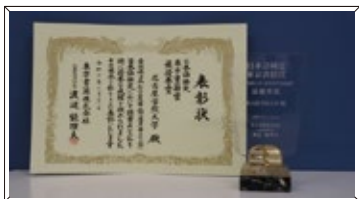
2025年度 入試結果(1年次入学の各区分を合算)

人(女子は内数)

学部	学科	専攻	入学 定員	志願者		合格者		入学者	
				全体	女子	全体	女子	全体	女子
経済	経済	—	250	2,940	334	946	119	296	39
現代社会	現代社会	—	150	1,437	429	643	251	175	59
商	商	—	200	1,314	366	440	151	228	79
経営	データ経営	—	135	1,239	341	377	119	163	51
法	法	—	165	1,587	445	759	239	191	55
外国語	英米語	—	140	772	350	430	222	153	89
国際文化	国際文化	グローバル文化	90	575	243	295	159	111	62
		国際協力・共生	30	160	46	92	35	30	4
		国際日本学	30	194	41	93	30	39	9
スポーツ健康	スポーツ健康	—	80	503	88	355	69	134	27
リハビリテーション	理学療法	—	130	752	284	224	119	89	42
総計			1,400	11,473	2,967	4,654	1,513	1,609	516

7 日本語検定「東京書籍賞 最優秀賞」を団体受賞

2024年11月8日(金)に日本語検定の学内受検を実施しました。名古屋キャンパス・瀬戸キャンパス合わせて122名の学生が受験し、2級認定1名、3級認定80名、準3級認定28名で、2級認定は2018年度第2回検定以来、6年ぶりとなりました。また、この結果、日本語検定の団体表彰「東京書籍賞 最優秀賞」を受賞しました。最優秀賞は、本学で初めての受賞となります。



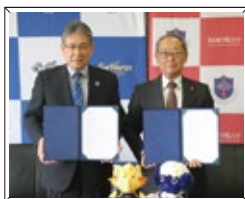
4 大島健吾選手がパリ2024 バラリンピックに出場

名古屋学院大学AC(アスリートクラブ)所属の大島健吾選手(法学部2022年3月卒業)が、2024年9月に開催された、パリ2024パラリンピック男子100m(T64)に出場し、11秒24でアジア新記録を更新しました。また、その活躍が認められ、愛知県スポーツ顕彰(スポーツ功労賞)、瀬戸市スポーツ功労者として功労賞を受賞しました。



1 シーホース三河株式会社と 相互連携協定を締結

2024年8月30日(金)にシーホース三河株式会社と「相互連携に関する協定書」の締結式を開催し、協定の締結を行いました。この協定は、スポーツを通じて連携協力することにより、地域社会の活性化及び双方活動の発展に寄与することを目的としています。現在、男子バスケットボール部の選手がシーホース三河トップチームの練習に「練習サポート生」として参加し、シーホース三河の練習強度の向上および練習環境の充実を図っています。



8 理学療法士 国家試験結果報告

第60回理学療法士国家試験結果が発表されました。リハビリテーション学部理学療法学科の皆さまが、日頃の努力の成果を発揮しました。理学療法学科ではこれまで約1,000名の卒業生を輩出し、そのほとんどが理学療法士の資格を取得し、専門職に就いています。

〈第60回理学療法士国家試験合格率〉

98.6% (新卒)

全国平均 95.2%

5 『「敬神愛人」をめぐる系譜と群像」を 振り返るキックオフ・シンポジウム開催

2019年度～2023年度研究助成プロジェクト「日本におけるキリスト教教育—『敬神愛人』の系譜の探究—」の研究成果として、『「敬神愛人」をめぐる系譜と群像「建学の精神」の源泉をたずねて」が2024年5月に出版されたのを記念し、2024年9月17日(火)にシンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、本研究に関わった本学教員が講演を行いました。



2 愛知県立美和高等学校と「高大連携プログラム」に関する協定締結

2024年12月4日(水)に名古屋キャンパスで、愛知県立美和高等学校と「高大連携プログラム」に関する協定を結びました。美和高校は探究学習に注力し、2025年度から「地域探究科」が設置されました。この取り組みは文部科学省の「普通科高校改革」の一環として行われ、「新時代に対応した高等学校改革推進事業」の指定校となっています。今後は、本学教員が美和高校に出向くほか、高校から大学の授業に参加するなど相互の交流を推進していきます。



9 NGU AWARD開催

2025年7月1日(火)に、学部・学科やジャンルにとらわれず、学生の挑戦・成長を称えることを目的としたNGU AWARDを開催しました。第2回目となる今回は8名の学生が、名古屋学院大学に入学してがんばっていること、挑戦していることをプレゼンテーションし、学長賞1名、発表者同士の投票による学生賞1名を表彰しました。



6 品野の森・里山学校 ウィンタースクール2024

2024年12月21日(土)、22日(日)の2日間、瀬戸キャンパスにおいて瀬戸市近郊在住の小学生を対象にした「品野の森・里山学校ウィンタースクール2024」を開催。瀬戸市との共催で2004年から実施しており、26名の児童が元気に参加してくれました。子どもたちに自然のすばらしさを伝えることを目的とし、スポーツ健康学部の学生がキャンパス周辺の森での遊びやオリエンタリング、冬ならではの焼き芋体験などのサポートをしました。



3 第18回全日本学生テコンドー選手権大会で3位入賞

2024年9月15日(日)に東京都中野区立総合体育館で開催された「第18回全日本学生テコンドー選手権大会」のキョルギ男子-68kg級で、スポーツ健康学部3年の泉綾透さん(所属:大上曾)が3位入賞しました。泉さんは3年連続での全日本大会での入賞となりました。 ※学年は受賞当時



NGU FACT



← 詳細はこちら



数字で見る名古屋学院大学

名古屋学院大学のキャリア支援、留学、社会連携、スポーツの「FACT」が一目でわかる!学部の取り組みもご紹介しています。



2025年度 新入生オリエンテーション



国際文化学部

2025年4月2日(水)～8(火)の期間、各各で新入生オリエンテーションを開催しました。入学後、ガイダンスだけでなく、名古屋学院大学の学生として学ぶ環境を知る、周囲の人と知り合う、仲間との交流などの機会として、各学部色々な取り組みが行われました。

現代社会学部



法学部



スポーツ健康学部



経済学部



経営学部



リハビリテーション学部



商学部

→ PICK UP

企業連携

詳細はこちら▶



杉浦ゼミ 産学連携で「PanPastaMesica? Regional」を協働開発

経営学部所属の杉浦礼子教授の指導を受ける学生が、『能登半島地震からの復興の後押し』を目標に中日本海産株式会社と、しらすを使った高級志向の惣菜ブランドPanPastaMesica? Regional(パンパスタメシカ リージョナル)を協働開発しました。



能登半島地震で被害を受けた『石川県能登地方』の食材を商品に使用することで生産者を支援することに加え、利益の一部を寄付し、復興支援に役立てていただけることを目的としています。

本商品は、ECサイト(https://shop.nakanihon-kaisan.com/)での販売、また、名古屋市内のデパートや店舗での販売も計画しています。

→ PICK UP

表彰

様々な活動を通じて、多くの学生が各団体から表彰されましたのでご紹介します。

- 岡本純ゼミ〈時期:2024年8月〉 商学部ゼミ 「START UP Fujitaka」コンテストで「最優秀賞」を受賞
- 水野清文ゼミ〈時期:2024年8月〉 商学部ゼミ JAF「あいち学生ドライブスタンプラリーコンテスト2024」で「優秀賞」を受賞
- 伊東佑太ゼミ/石井瑞希さん(リハビリテーション学部4年)〈時期:2024年9月〉 コ・メディカル形態機能学会 第22回学術集会で「学会奨励賞」を受賞
- 山本真嗣ゼミ〈時期:2024年11月/2025年3月〉 外国語学部ゼミ APIEMS2024 /SEAMA2025で研究成果を発表
- 経済学部 チーム「花鳥風月」〈時期:2024年12月〉 第15回名証株式投資コンテストで4位に入賞
- 蒲生智哉ゼミ〈時期:2024年12月〉 商学部ゼミ 第22回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中部で「ファイナリスト」
- 佐藤菜穂子ゼミ〈時期:2025年1月〉 リハビリテーション学部ゼミ NUSB研究会で「最優秀賞」を受賞
- 熱田プロテクトチーム(APT)〈時期:2025年2月〉 愛知県警察本部から感謝状(大学生サイバーボランティアの活動)を授与
- 杉浦陽光さん(法学部3年)〈時期:2025年3月〉 東海警察署から感謝状(盗撮犯の逮捕に貢献)を授与
- 土屋聡彦さん(経済学部2年)〈時期:2025年4月〉 熱田消防署から感謝状(水難救助に携わる)を授与

※学年は受賞当時のものです。



NGU BOOK RECOMMEND

先生方の著書をご紹介します

マネジメント — ビジネス価値創造 —

- 五紘社/2024年4月
- 名古屋学院大学経営学部

葬儀業—変わりゆく死の儀礼のかたち—

- 平凡社/2024年5月
- 玉川 貴子(現代社会学部)

日々の仕事とつながって理解する行政法

- 第一法規/2024年6月
- 松村 享(法学部)

ストック・シェアリング: 蓄積された地域価値の再編による新しいコミュニティづくり

- 風媒社/2024年9月
- 井澤 知旦(名誉教授)名古屋学院大学社会連携センター編集委員会

W.M.ヴォーリズと朝鮮の物語 — 真の「神の国」を求めて —

- かんよう出版/2025年2月
- 神山 美奈子(商学部)

方言オノマトペの形態と意味

- ひつじ書房/2025年3月
- 川崎 めぐみ(商学部)

2025年 8月～2026年 3月
行事予定

8月	夏季休暇(7/30(水)～9/18(木)) 集中講義(8/4(月)～8/15(金))
9月	18日(木) 春学期学位記授与式 19日(金) 秋学期授業開始 履修登録変更期間(～25(木)) 23日(火) 臨時開講(秋分の日)
10月	13日(月) 臨時開講(スポーツの日) 14日(火) 大学創立記念礼拝【名古屋】 15日(水) 大学創立記念日 大学創立記念礼拝【瀬戸】 18日(土) 名学大祭 19日(日)
11月	3日(月) 臨時開講(文化の日) 9日(日) 瀬戸キャンパス祭 24日(月) 臨時開講(振替休日)
12月	1日(月) クリスマスツリー点灯式 13日(土) こどもクリスマス2025 19日(金) 大学クリスマス礼拝【名古屋】 24日(水) 冬季休暇(～1/6(火)) 25日(木) 大学クリスマス礼拝【瀬戸】 NGUチャペルコンサート【瀬戸】

2026年

1月	7日(水) 秋学期授業再開 20日(火) 秋学期定期試験(～26(月)) 26日(月) 秋学期授業終了
2月	2日(月) 集中講義(～13(金)) 上旬・中旬 本学主催業界セミナー
3月	11日(水) 卒業確定者公示 18日(水) 学位記授与式 19日(木) 在学生履修登録(～25(水))

広報誌 COSMORAMA

より良い広報誌をお届けするために
皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

郵便番号・住所・氏名をご記入後、ハガキ、封書又は
メールにてご送付ください。

〒456-8612 名古屋市中熱田区熱田西町1-25
名古屋学院大学広報室

メール kouhou@ngu.ac.jp

EVENT INFORMATION	第61回 名学大祭 ●10月18日(土)、10月19日(日) ●会場：名古屋キャンパス	2025年度 瀬戸キャンパス祭 ●11月9日(日) ●会場：瀬戸キャンパス	第70回 NGUチャペルコンサート ●12月25日(木) 大学クリスマス礼拝終了後 ●会場：瀬戸キャンパスチャペル
----------------------	---	---	---

NGU PLATZ NGUプラッツからのお知らせ

NGUプラッツは学校法人名古屋学院大学100%出資の事業会社です

NGUプラッツでは、学生のキャンパスライフを豊かにするサービスを提供しております。信頼性の高い企業と提携し、本学学生限定の特典を用意しておりますので、ぜひご利用ください。

主な学生サービス

- 就活用スーツ
- 卒業式レンタル袴
- 引越し
- お部屋探し
- 学生生活総合保険
- 自動車学校
- レンタカー紹介
- 大学グッズ販売 など

NGUプラッツのお知らせは、ホームページでも発信しております。



【場所】しろとり曙館4階(学術情報センター内) 【営業】月～金(8:45～16:45)

学生保険のご案内

学研災付帯 学生生活総合保険

通学中の事故や病気による通院(一部対象外あり)など、学生生活全体をカバーする総合保険をご案内しております。随時加入が可能です。この機会に是非ご検討ください。

学生保険に関するお問い合わせ先

〈パンフレットのご請求、ご質問等はコチラへ〉

名古屋学院大学保険相談係(取扱代理店：井高興産)

052-331-8251 (平日 9:00～17:00)

ORIGINAL GOODS

大学オリジナルグッズ

▲ぬいぐるみキーホルダー(メイン)

▲エコバック(創立60周年ロゴ入り)

▲ポロシャツ(メイン)

▲アクリルキーホルダー(メイン)

▲ミネラルウォーター

名古屋学院大学 オリジナルキャラクター メイン

大学オリジナルグッズを
NGUプラッツ
ECサイトで販売中!

▲パーカー(メイン)

オリジナル
カトラリーセット
(大学ロゴ入り)



NGU新任教職員紹介 新しく仲間入りした教職員より学生へメッセージ

経済学部  かとう まき こ 加藤 雅子 自分の個性を生かして、やりたい事にどんどん挑戦してください。迷ったらやってみましょう。みなさんの挑戦を応援しています!	現代社会学部  みずの きよし 水野 清 大学生になったら、楽しいことがたくさんある反面、責任が伴います。充実した毎日を過ごすください。	商学部  かめおか きょうこ 亀岡 京子 充実した4年間になるように楽しく学び喜びを共に体験できれば嬉しいです。	商学部  くぼ た よしたか 久保田 良貴 学生生活でしか挑戦できないことが沢山あります。ともに学び、成長しましょう!	商学部  にしぐち しんや 西口 真也 大学では自主性が求められる。自ら情報収集し、考え、行動するようにしましょう!
経営学部  まつした しんや 松下 真也 今の時代、何でも挑戦できます。何事も前向きに取り組む、充実した日々をしましょう。	法学部  しちのへ かつ ひこ 七戸 克彦 学生の皆さんが教員に挨拶してくれるのに感動しました。	法学部  たにおか ひろき 谷岡 拓樹 大学生活は自由な時間が多いので、ぜひ自分らしい4年間をお過ごしください。	国際文化学部  きんじょう みき 金城 美幸 学生生活での様々な気づきを大事に、道を切り拓いてください。	リハビリテーション学部  はら みづき 原 美築 好奇心と熱意を大切に。夢中になって取り組んだことは社会に出てからも生きます。
リハビリテーション学部  わたなべ のぶゆき 渡邊 宣之 新たな門出を皆さまと迎えられ、心より嬉しく存じます。充実した学生生活を送りましょう!	総務課  さかい あつ し 酒井 敦之 実り多き学生生活が送れるように全力でサポートします。よろしくお願ひします。	教務課  かしおか か な 柏岡 香菜 皆さんの大学での学びと生活を全力でサポートします。どうぞよろしくお願いします。	教務課  まつうら たいせい 松浦 泰聖 皆さまの大学生活が少しでも豊かなものになりますように、微力ながら、サポートさせていただきます。	(所属ごと50音順で掲載)

Retired Professors

“定年退職者”

2025年3月をもって6名の先生方が定年退職を迎えられました。学部教育の他、本学の発展に長年にわたりご尽力くださいました。心より感謝申し上げます。

経営学部  五藤 寿樹 教授 (2019年就任)	法学部  佐久間 修 教授 (2017年就任)	国際文化学部  原田 寿美子 教授 (1989年就任)	国際文化学部  黄 名時 教授 (1989年就任)	スポーツ健康学部  酒井 淳一 教授 (2006年就任)	リハビリテーション学部  吉田 行雄 教授 (2019年就任)
--	---	---	---	--	---

横井 弘美 先生 名誉教授 元理事長・元学長 2025年7月逝去	安井 俊夫 様 本法人元評議員・愛知県元教育長 2025年1月逝去	石川 智康 様 本法人元職員 2024年10月逝去	佐々木健吾 先生 経済学部准教授 2024年9月逝去	林 曉雄 先生 名誉教授 元商学部教授 2024年9月逝去	岸 邦治郎 様 本学1期生・元同窓会長 2024年7月逝去
--	---	---	--	---	---

瑞宝小綬章 森田耕治氏 本学元特任教授 2024年4月29日	瑞宝中綬章 鈴木真雄氏 本法人元理事・元スポーツ健康学部教授 2024年4月29日	旭日中綬章 塚本 久氏 本法人評議員 2024年4月29日	旭日小綬章 末安堅二氏 本法人元理事長 2024年11月3日	叙勲・褒章
--	---	---	--	--------------

※役職名は受賞当時